

TCS-1700

取扱説明書



HYTEC INTER Co., Ltd.

第 1.1 版

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、弊社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、弊社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

改版履歴

第1版	2023年12月1日	新規作成	
第1.1版	2024年02月13日	改版	製品仕様の修正 ターミナルブロックのピン配列を追記

ご使用上の注意事項

- 本製品及び付属品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品及び付属品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本製品及び付属品を直射日光の当たる場所や、温度の高い場所で使用しないでください。本体内部の温度が上がり、故障や火災の原因になることがあります。
- 本製品及び付属品を暖房器具などのそばに置かないでください。ケーブルの被覆が溶けて感電や故障、火災の原因になることがあります。
- 本製品及び付属品をほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気のあたる場所で使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- 本製品及び付属品を重ねて使用しないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- 通気口をふさがないでください。本体内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 通気口の隙間などから液体、金属などの異物を入れないでください。感電や故障の原因になることがあります。
- 付属のACアダプタは本製品専用となります。他の機器には接続しないでください。また、付属品以外のACアダプタを本製品に接続しないでください。
- 本製品及び付属品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品及び付属品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。

目次

1. 製品概要	7
2. 梱包物一覧.....	7
3. 製品外観	8
3.1. 前面.....	8
3.2. 背面.....	9
4. インストレーション	12
5. 対応解像度一覧	13
6. 設定画面へのログイン.....	14
7. メニューの切り替え方法	18
7.1. SETUP メニューから LIVE メニューへの切り替え	18
7.2. LIVE メニューから SETUP メニューへの切り替え	18
8. 基本設定	19
8.1. IP アドレスの変更	19
8.2. 出力インタフェースの変更	20
8.3. 映像受信	21
8.4. ポート開放の設定	23
9. Setup メニュー	24
9.1. Video&Audio.....	24
9.1.1. Information	25
9.1.2. Audio	26
9.1.3. Output.....	27
9.1.4. Output OSD.....	30
9.2. Network.....	34
9.2.1. IP&Port.....	35
9.2.2. QoS.....	39

9.2.3.	Remote	40
9.2.4.	Discovery	49
9.2.5.	SNMP	50
9.2.6.	DDNS.....	52
9.2.7.	IP filtering.....	53
9.2.8.	SSL	54
9.2.9.	Connecting.....	55
9.2.10.	Decode List.....	56
9.3.	Event.....	57
9.3.1.	Notification.....	58
9.3.2.	User Defined Event.....	60
9.3.3.	Audio Detection	61
9.3.4.	Sensor.....	62
9.3.5.	Alarm	64
9.3.6.	HTTP Action.....	65
9.4.	Record.....	66
9.4.1.	General	67
9.4.2.	Schedule	69
9.4.3.	Disk Information	70
9.4.4.	Search Page	72
9.5.	Device	73
9.5.1.	Information	74
9.5.2.	Serial	75
9.6.	PTZ.....	77
9.6.1.	General	78
9.6.2.	Preset	79
9.7.	User.....	80
9.7.1.	User List	81
9.7.2.	Login Policy.....	84
9.8.	System.....	86
9.8.1.	Information	87
9.8.2.	Upgrade & Reboot.....	88
9.8.3.	Time	90
9.8.4.	OSD	91
9.8.5.	Language	92
9.8.6.	Log.....	93
10.	Live メニュー.....	96

11. 製品仕様	98
12. 困ったときには.....	100
13. 製品保証	101

1. 製品概要

TCS-1700 は、H.264/H.265 の動画圧縮規格に対応した 4K デコーダです。

SRT, ONVIF, RTSP, RTP, MPEG-TS などのプロトコルに対応しているため、IP カメラや各種エンコーダと TCS-1700 の組み合わせが可能です。

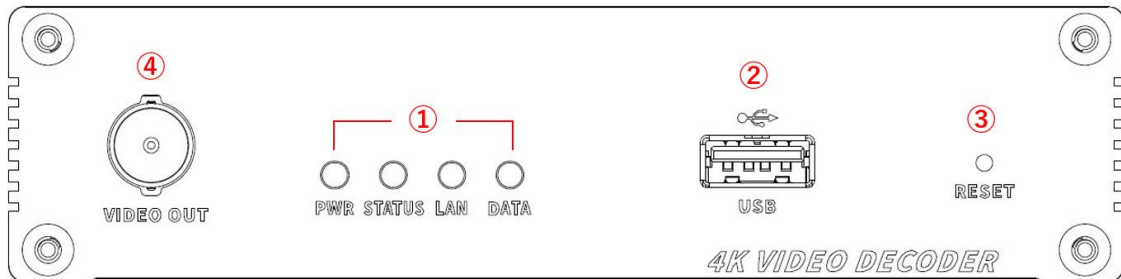
2. 梱包物一覧

ご使用いただく前に本体と付属品を確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

名 称	数 量
本体	1 台
AC アダプタ	1 個
固定金具	2 個
固定金具用ネジ	8 個
保護接地極用ネジ	1 個
3-pin ターミナルブロック	2 個
4-pin ターミナルブロック	2 個

3. 製品外観

3.1. 前面

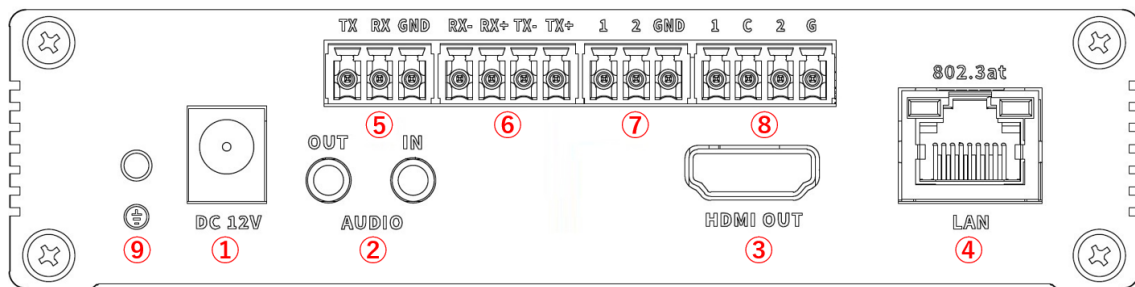



#	表示	説明
①	LED	電源の OFF/ON、本体の状態、対向機との接続状態、映像/データが送受信されているか等を示します。
②	USB	USB メモリを接続し、録画を保存します。 ※USB メモリースティックまたは USB HDD (外部電源付き) を推奨します。詳細は” USB ディスクについて ”をご確認ください。
③	RESET	ネットワーク設定を初期状態にします。 PWR だけが点灯するまで (約 7 秒間) 押下してください。その後、自動で再起動し、約 1 分後にパスワード、IP 設定、ユーザリストのみ初期化された状態で起動します。
④	VIDEO OUT	コンポジット信号を出力します。

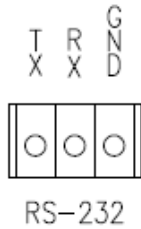
LED の状態

#	名称	状態	説明
①	PWR	消灯	電源が入っていません。
		緑点灯	電源が入っています。
	STATUS	緑点滅	システムが正常に稼働しています。
		赤点灯	システムに異常が発生しています。
	LAN	消灯	対向の機器と接続されていません。
		緑点灯	対向の機器と接続しています。
		赤点滅	対向の機器との接続を試みています。
		橙点灯	サポートしていない方法で接続しています。
	DATA	消灯	データが送信されていません。
		緑点灯	データが送信されています。
		赤点灯	データロスがあります。

3.2. 背面



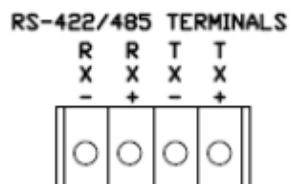
#	表示	説明
①	<u>DC12V</u>	DC12V の電源を供給します。
②	<u>AUDIO</u>	<u>OUT</u> 増幅機能を有するスピーカなどを接続します。 3.5mm ステレオミニジャックの LINE 出力ポートです。
		<u>IN</u> 増幅機能を有する音源を接続します。 3.5mm ステレオミニジャックの LINE 入力ポートです。
③	<u>HDMI OUT</u>	HDMI 信号を出力します。
④	<u>LAN</u>	本機をネットワークに接続します。(10/100/1000Mbps)
⑤	<u>RS-232</u>	カメラのコントロール (PTZ 制御) を行います。
⑥	<u>RS-422/485</u>	カメラのコントロール (PTZ 制御) を行います。
⑦	<u>SENSOR</u>	外付けのセンサーを接続します。
⑧	<u>ALARM</u>	外付けのアラーム機器を接続します。
⑨		付属の保護接地極用ネジを接続します。

Serial ポート RS-232

● Port Type

3 PIN

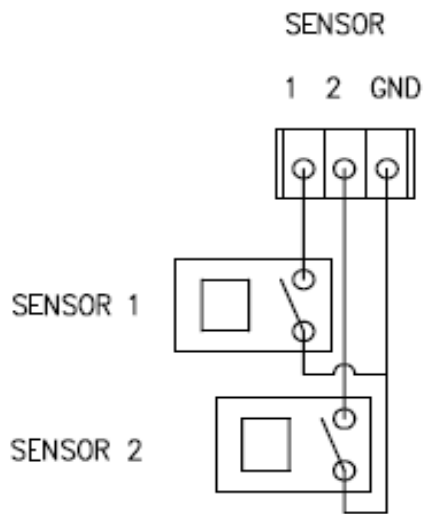
ピン番号	ピン名	説明
1	TX	RS232 TX (Transmit)
2	RX	RS232 RX (Receive)
3	GND	Ground

Serial ポート RS-422/485

● Port Type

4 PIN

ピン番号	ピン名	説明
1	RX-	RS422 RX-
2	RX+	RS422 RX+
3	TX-	RS422 TX- or RS485 TRX- It is selectable by S/W setup
4	TX+	RS422 TX+ or RS485 TRX+ It is selectable by S/W setup

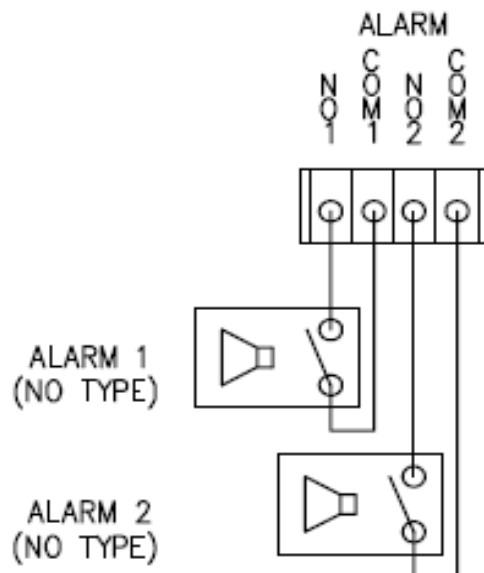
Sensor ポート

● Terminal Type

Color : Green

● Sensor Signal Input Type

NO Contact Signals

Alarm ポート

● Terminal Type

Color : Green

● Power Rating

(User has to use following spec)

Voltage Rating : 12VDC

Current Rating : 0.1A

● Alarm Signal Output Type

NO/NC Contact Signals

● Connection to External Device

External alarm line power is under 12V/1A

4. インストレーション

以下に接続例を示します。

■ 1 対 1 接続

一般的によく使われる構成は、1 対 1 接続です。

TCS-1700(デコーダ)の対向で使用するエンコーダは、TCS-9500 となります。

4K での映像伝送の場合は、1 対 1 でご使用ください。



また、音声信号を IP 化し、IP 経由での音声伝送ができます。

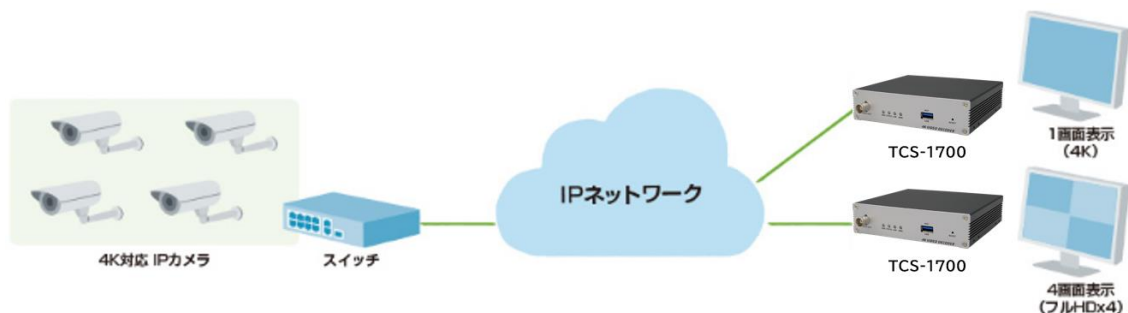
片方向はもちろん、双方向での音声やりとりが可能となります。



■ マルチデコード

互換共通規格「ONVIF」に対応。同製品のみならず、各社 ONVIF 対応 IP カメラ/エンコーダをマルチデコード可能です。

最大 4 ストリームまで分割表示が可能となります。



5. 対応解像度一覧

出力解像度	HDMI	Composite
720 × 480 p60	—	○
720 × 576 p50	○	—
1280 × 720 p50/60	○	—
1920 × 1080 p24/25/30/50/60	○	—
3840 × 2160 p25/30/60	○	—

※ ドロップフレームでの出力は対応していません。

また、HDMI の 720x480p60 および 3840x2160p24 での出力も未サポートとなります。

※ Composite OUT は、720x480 のみサポートしています。(固定)

6. 設定画面へのログイン

Web ブラウザを使用して、TCS-1700 の設定を行います。

- 推奨ブラウザ

Microsoft Edge (Internet Explorer モード)

※[Internet Explorer モード](#)の設定方法をご参照ください。

- ログイン初期設定

IP アドレス : 192.168.10.100/24

ユーザ名 : admin

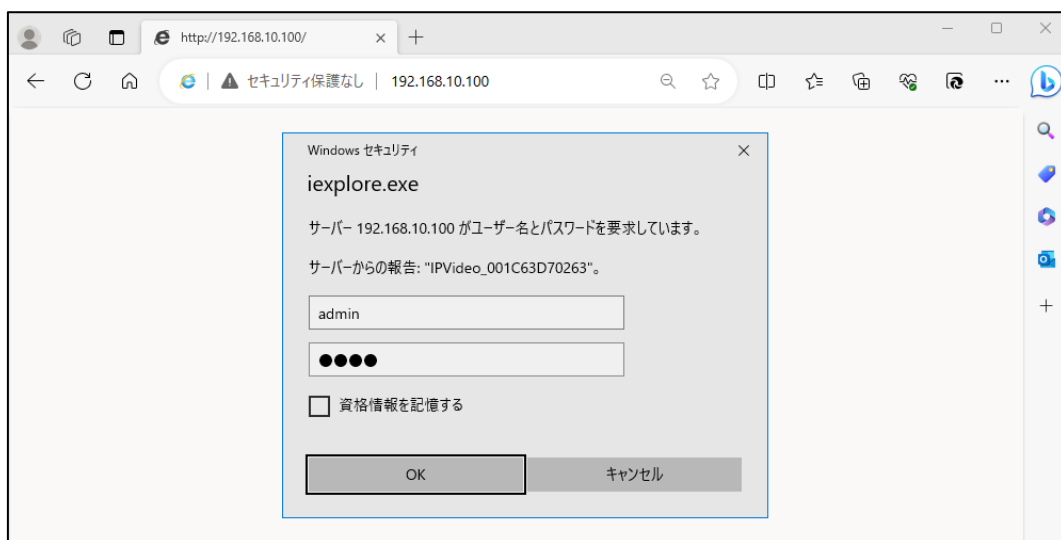
パスワード : 1234

- ログイン手順

1. ブラウザのアドレスバーに”192.168.10.100”を入力して接続します。

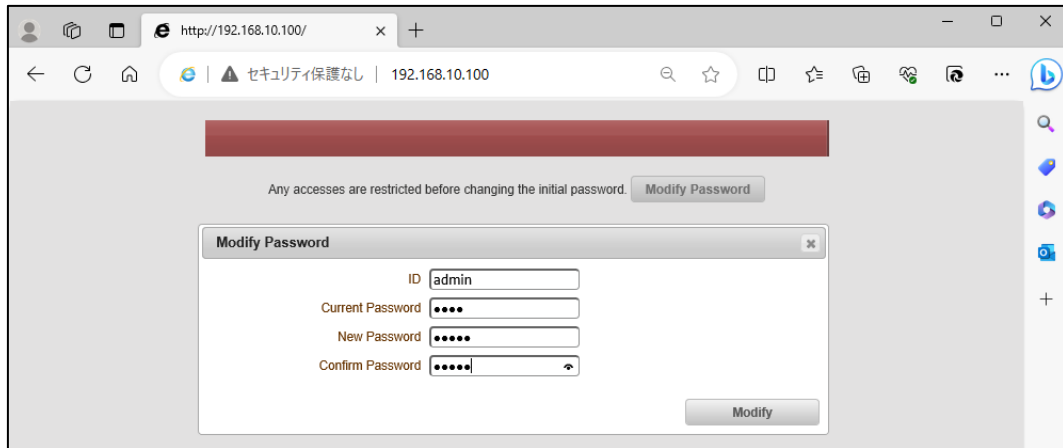


2. ユーザ名とパスワードを入力して、”OK”をクリックします

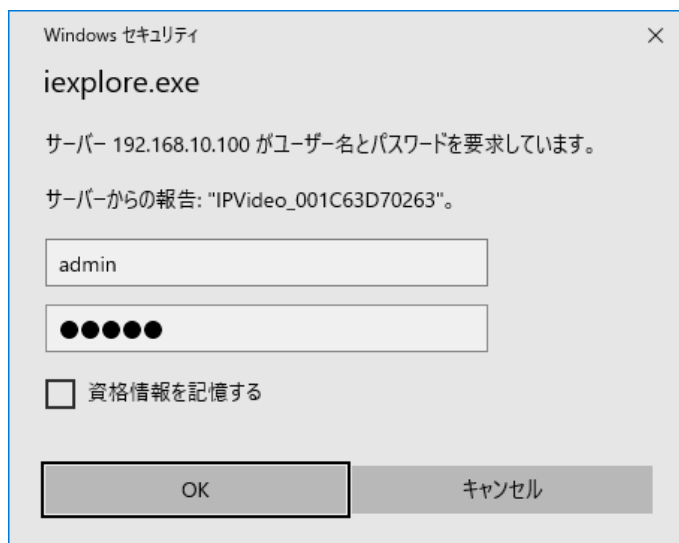


3. 初期パスワードの変更を必ず行います。(Modify Password をクリック)

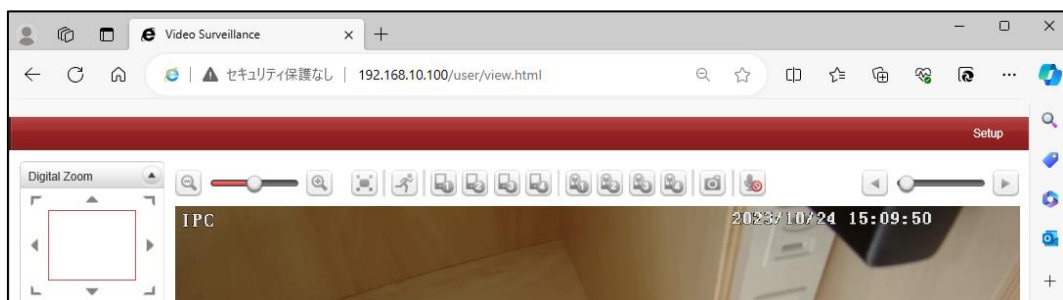
Current Password には初期値の 1234 を入力します。New/Confirm Password には初期値以外の新しいパスワードを入力し、Modify をクリックしてパスワードを変更します。



4. 再度ユーザ名とパスワードが要求されるので、上記 3 で設定した新しいパスワードでログインします。



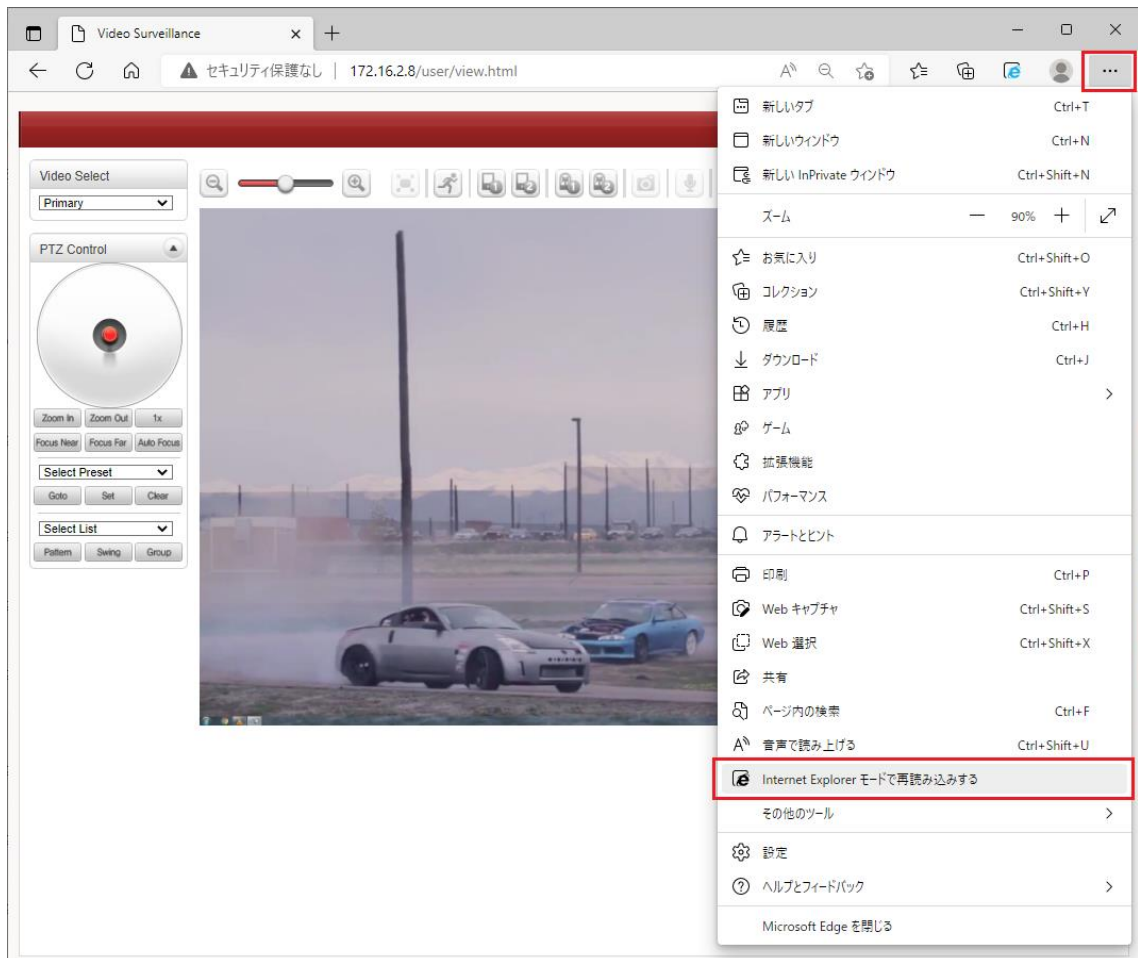
5. ログインに成功すると、Live 画面が表示されます。



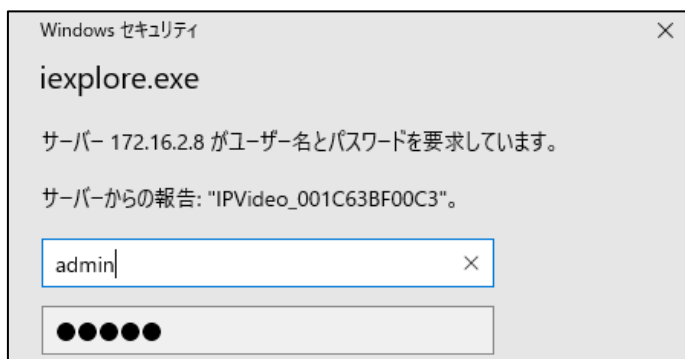
- Internet Explorer モード (IE モード)

設定方法

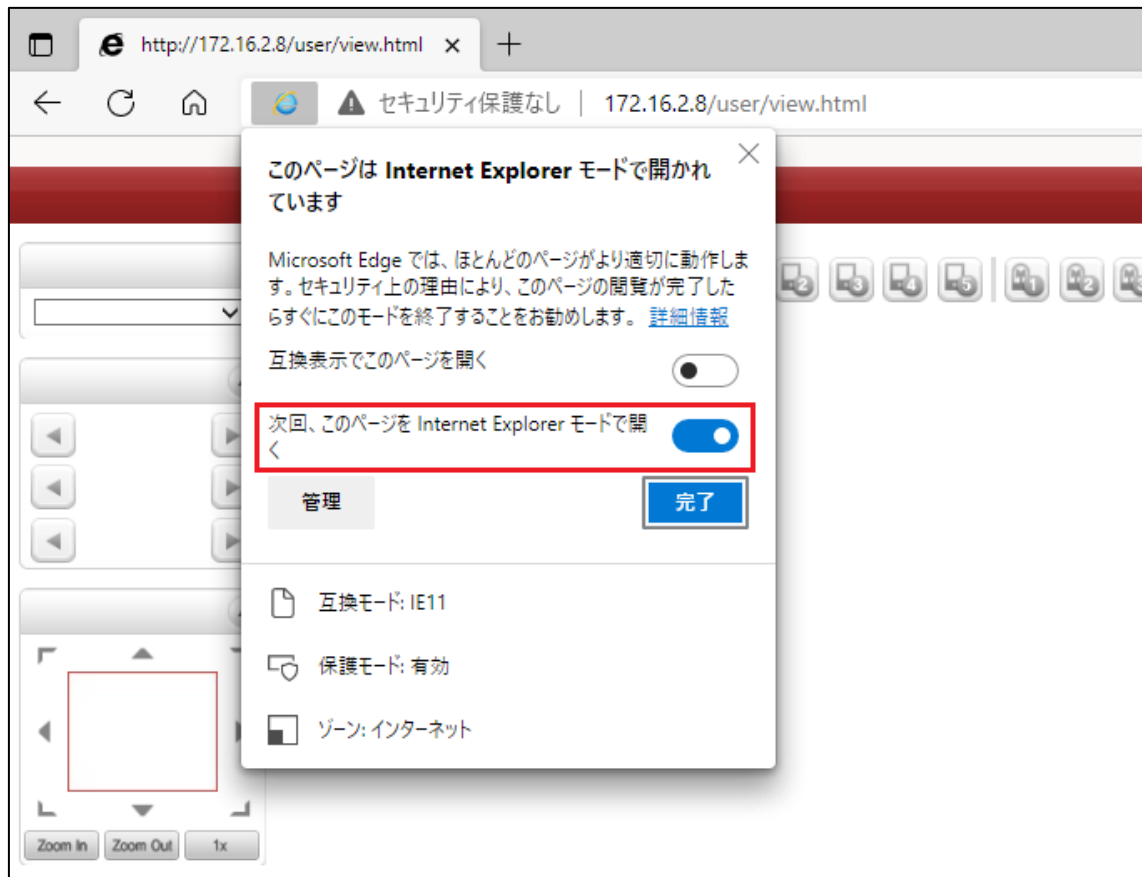
1. **Microsoft Edge** ブラウザで、上記のログイン手順に従って TCS-1700 にログインします。
2. 右上の「…」をクリックします。
タブの中から「Internet Explorer モードで再度読み込みする」を選択します。



3. ユーザ名とパスワードを求められるので、再度ログインします。



4. 「次回、このページを Internet Explorer モードで開く」を有効にし、完了をクリックします。
次回以降 Edge でログインすると、自動的に Internet Explorer モードで開きます。



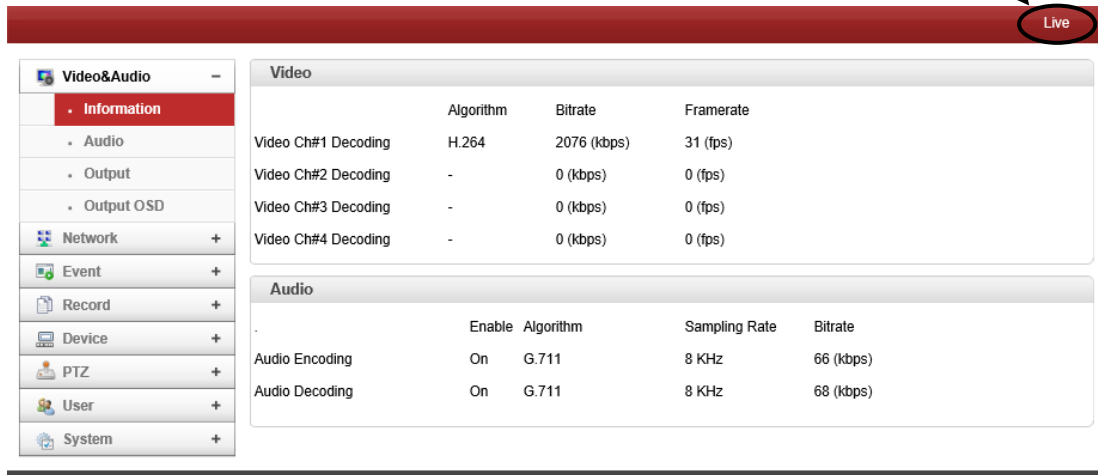
注意事項

Microsoft Edge の Internet Explorer モードでは、Live メニューの「File Record」および「Snapshot」はご使用になれません。必要な場合は、“Chrome”または“Edge の通常モード”でご使用ください。

7. メニューの切り替え方法

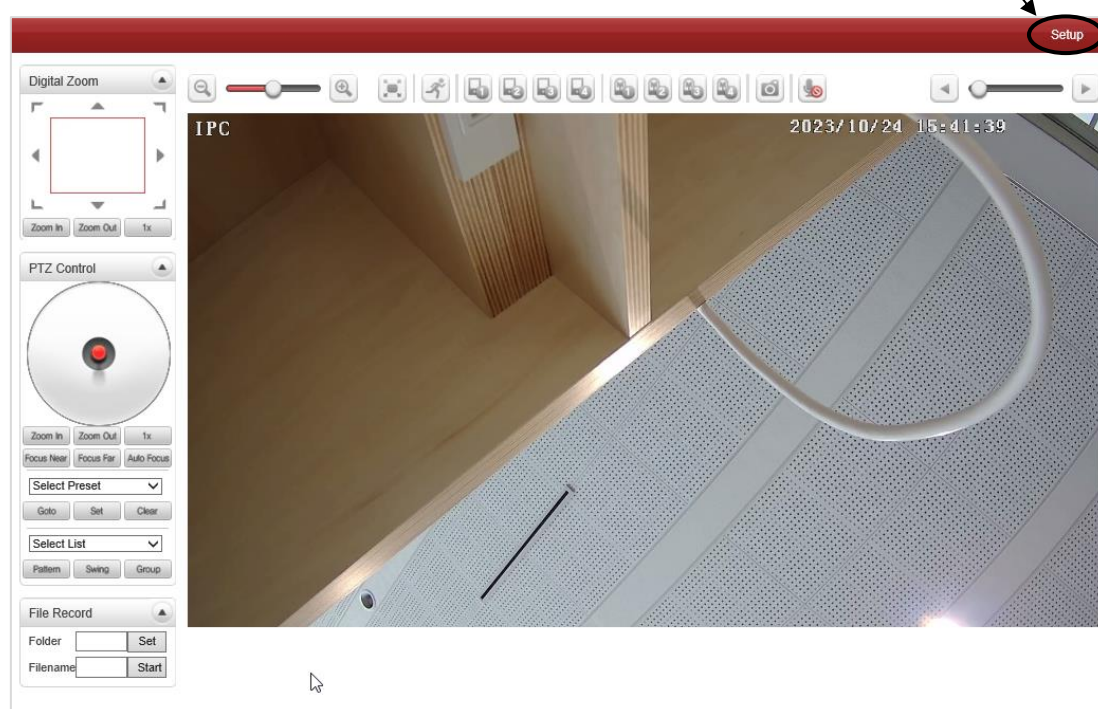
7.1. SETUP メニューから LIVE メニューへの切り替え

画面右上の”Live”をクリックします。



7.2. LIVE メニューから SETUP メニューへの切り替え

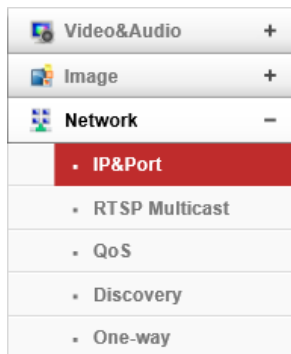
画面右上の”Setup”をクリックします。



8. 基本設定

8.1. IP アドレスの変更

1. Network の“IP&Port”をクリックします。



2. Local IP (IP アドレス)、Local Gateway (デフォルトゲートウェイ)、Local Subnet (サブネットマスク)をそれぞれ入力します。

 A screenshot of a 'Local' configuration window. It contains the following fields:

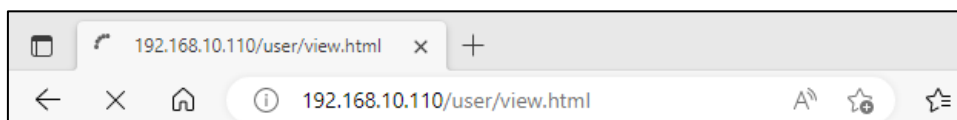
- IP Mode: Fixed IP (dropdown menu)
- Local IP: 192.168.10.100
- Local Gateway: 192.168.10.1
- Local Subnet: 255.255.255.0

 A yellow rectangular box highlights the Local IP, Local Gateway, and Local Subnet input fields.

※IP Mode を DHCP にした場合、Local 設定は入力できません。

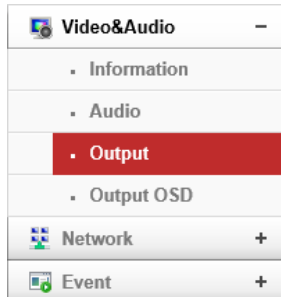
3. 画面右下の **Apply** をクリックし、設定を反映させます。
※本機は自動で再起動します。

4. ブラウザのアドレスバーに新しく設定した IP アドレスを入力しログインします。

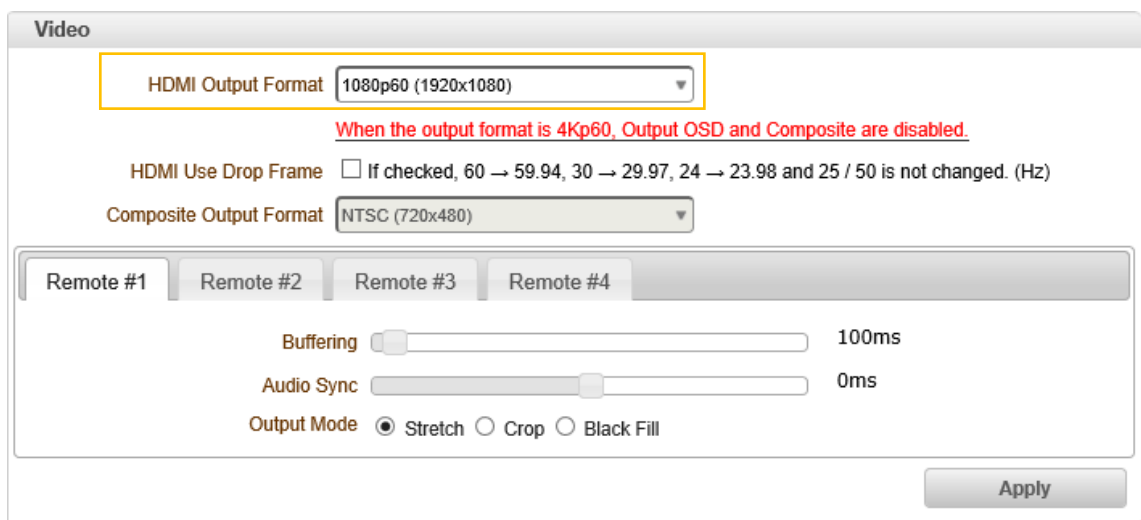



8.2. 出力インターフェースの変更

1. Video&Audio の Output をクリックします。




2. HDMI Output Format より、HDMI の出力形式を選択します。



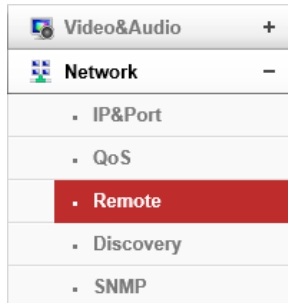
3. 一度  をクリックし、設定を反映させます。
4. HDMI 及び Composite から出力する映像を単画面 (Channel 1-4)、2 分割 (ch1+ch2/ch3+ch4)、4 分割 (Quad) ローテーション (Rotation) から選択します。
2 チャンネル以上表示する場合は、どのチャンネルから音声を出力させるのか設定します。



5.  をクリックし、設定を反映させます。

8.3. 映像受信

Network の“Remote”をクリックします。



- TCS-9500(エンコーダ)からの映像受信

1. Remote Type は“Normal”を選択します。

Address に TCS-9500 の IP アドレス、Port には TCS-9500 で設定した Base Port 番号を入力します。

 A screenshot of a configuration window titled 'Remote #1'. It contains several fields for configuring a remote connection:

- Remote Type: Normal (dropdown)
- Media Protocol: TCP (dropdown)
- Address: 192.168.10.100 (text input)
- Port: 2222 (text input)
- Remote Channel: Channe#1 (dropdown)
- Use Streaming Server: Off (dropdown)
- SS IP Address: 192.168.10.22 (text input)
- SS Port: 2222 (text input)
- ID: (empty text input)
- Password: (empty text input)
- Overlapped Connection: Enable (dropdown) with a note: (Keep previous connection until new connection is established.)

※エンコーダの Base port は、Network>IP&Port>Port に設定されています。

2. 画面右下の **Apply** をクリックし、設定を反映させます。

※“Remote”にて映像受信を設定すると、画面表示していない場合もバックグラウンドでストリームを受信し続けます。

- RTSP 映像受信

1. Remote Type は RTSP を選択します。

Address に RTSP ストリームの URL、Port に RTSP のポート番号を入力します。

※上図のように Address にポート番号が含まれている場合、Port は 0 を入力します。

2. 画面右下の **Apply** をクリックし、設定を反映させます。

- ONVIF 映像受信

1. Remote Type は ONVIF を選択します。

ONVIF 対応カメラの IP アドレスとポート番号、カメラの ID/Password を入力します。

すべて入力し **Get Profile List** をクリックすると、Profile がされ表示されるので適した Profile を選択し取得します。

2. 画面右下の **Apply** をクリックし、設定を反映させます。

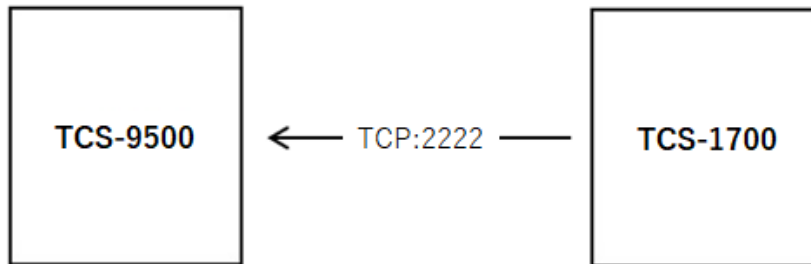
8.4. ポート開放の設定

WAN 経由で通信を行う場合は、ルータでポートフォワーディングの設定を行う必要があります。

※下記の例は、TCS-1700 のポート設定が初期状態の場合のものです。

- Normal (TCS-9500 → TCS-1700)
 ・TCP Port 2222 : TCS-9500 ←TCS-1700

エンコーダ側のルータで TCP:2222 をポートフォワーディングします。

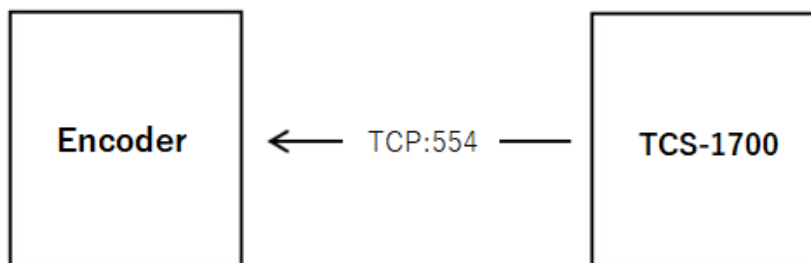


※WAN 経由の場合、Media Protocol では TCP を選択してください。(デコーダ側の設定)

※ポート番号は、Network > IP&Port > Port の Base Portで変更可能です。

- RTSP (Encoder → TCS-1700)
 ・TCP Port 554 : Encoder ← TCS-1700

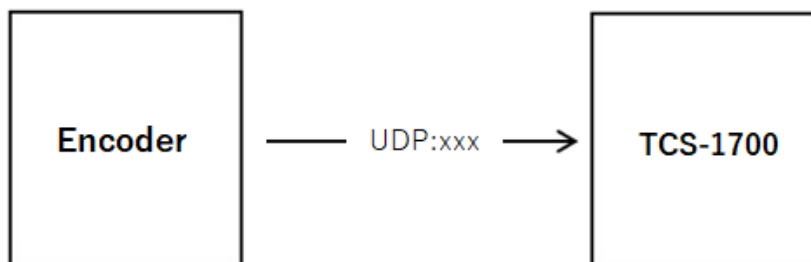
エンコーダ側のルータで TCP:554 をポートフォワーディングします。



※ポート番号は、Network > IP&Port > Port の RTSP Portで変更可能です。

- MPEG-TS (Encoder → Decoder)
 ・UDP Port xxxx : Encoder → TCS-1700

デコーダ側のルータで、指定した UDP ポートをポートフォワーディングします。



※ ポートの指定は、Network > One-way の MPEG-TS 設定にて行います。

9. Setup メニュー

9.1. Video&Audio

SETUP メニュー画面から”Video&Audio”タブをクリックします。

Video			
	Algorithm	Bitrate	Framerate
Video Ch#1 Decoding	H.264	2055 (kbps)	30 (fps)
Video Ch#2 Decoding	-	0 (kbps)	0 (fps)
Video Ch#3 Decoding	-	0 (kbps)	0 (fps)
Video Ch#4 Decoding	-	0 (kbps)	0 (fps)

Audio				
	Enable	Algorithm	Sampling Rate	Bitrate
Audio Encoding	On	G.711	8 KHz	66 (kbps)
Audio Decoding	On	G.711	8 KHz	71 (kbps)

➤ Video&Audio メニュー

表示	説明
Information	ビデオとオーディオに関するステータスを表示します。
Audio	オーディオ入力の設定を行います。
Output	ビデオとオーディオの出力設定、ディスプレイの設定を行います。
Output OSD	ディスプレイに表示させる OSD の設定を行います。

9.1.1. Information

<div>Video&Audio</div> <div>Information</div> <div>Audio</div> <div>Output</div> <div>Output OSD</div> <div>Network</div> <div>Event</div> <div>Record</div> <div>Device</div> <div>PTZ</div> <div>User</div> <div>System</div>	Video			
		Algorithm	Bitrate	Framerate
	Video Ch#1 Decoding	H.264	1971 (kbps)	30 (fps)
	Video Ch#2 Decoding	-	0 (kbps)	0 (fps)
	Video Ch#3 Decoding	-	0 (kbps)	0 (fps)
	Video Ch#4 Decoding	-	0 (kbps)	0 (fps)
	Audio			
		Enable	Algorithm	Sampling Rate
				Bitrate
	Audio Encoding	On	G.711	8 KHz
	Audio Decoding	On	G.711	8 KHz
				66 (kbps)
				68 (kbps)

表示	説明
Video	各チャンネル登録したビデオソースのデコーディング情報を表示します。
Audio	オーディオのエンコーディング・デコーディング情報を表示します。

9.1.2. Audio

- Audio

表示	説明
Audio Source	オーディオソースを選択します。 Analog Mic-In : AUDIO IN から音声を入力します。
Algorithm	G.711 または AAC を選択します。※1
Sampling rate	Algorithm で AAC を選択した場合、サンプリング周波数を設定します。 [32kHz/44.1kHz/48kHz]
Bitrate	ビットレートを設定します。[32bps/64kbps/128kbps/192kbps]※2
Mode	オーディオ動作モードを Off(送受信なし)、Tx-only(送信のみ)、Rx-only(受信のみ)、Tx & Rx(送受信)から選択します。

※1 双方向音声時の Algorithm : Normal(G.711/AAC)、SRT(AAC のみ)

※2 32kbps/64kbps は未サポートのためご使用できません。

- Input Gain

AUDIO IN から入力した音声に対して、音量調節を行います。[0-31]

9.1.3. Output

Video&Audio

- Information
- Audio
- Output**
- Output OSD

- Network
- Event
- Record
- Device
- PTZ
- User
- System

Video

HDMI Output Format 1080p60 (1920x1080)

When the output format is 4Kp60, Output OSD and Composite are disabled.

HDMI Use Drop Frame ☐ If checked, 60 → 59.94, 30 → 29.97, 24 → 23.98 and 25 / 50 is not changed. (Hz)

Composite Output Format NTSC (720x480)

Remote #1
Remote #2
Remote #3
Remote #4

Buffering 100ms

Audio Sync 0ms

Output Mode ☒ Stretch ☐ Crop ☐ Black Fill

Apply

Audio

Audio Output ☒ Decoded Audio ☐ Loopback

Apply

Display Mode

HDMI Quad

Composite Quad

Audio in Multi Screen Mixed Audio

Apply

● Video

Video

HDMI Output Format 1080p60 (1920x1080)

When the output format is 4Kp60, Output OSD and Composite are disabled.

HDMI Use Drop Frame ☐ If checked, 60 → 59.94, 30 → 29.97, 24 → 23.98 and 25 / 50 is not changed. (Hz)

Composite Output Format NTSC (720x480)

Remote #1
Remote #2
Remote #3
Remote #4

Buffering 100ms

Audio Sync 0ms

Output Mode ☒ Stretch ☐ Crop ☐ Black Fill

Apply

表示	説明
HDMI Output Format	HDMI の出力解像度を選択します。 ※4Kp60 で出力する場合、Output OSD と Composite は無効になります。
HDMI Use Drop Frame	未サポートのためご使用になれません。
Composite Output Format	VIDEO OUT (Composite) の出力解像度を表示します。
Buffering	各チャンネル (Remote#1-4) のバッファの調整を行います。

	値を大きくすると、遅延を増やしてより滑らかな映像になります。
Audio Sync	映像信号と音声信号が同期しない場合があります。 映像信号と同期できるように音声遅延時間を調整します。
Output Mode	ディスプレイの表示モードを選択します。 Stretch : アスペクト比を保持せず、ディスプレイ一杯に表示します。縦や横に伸びた映像になる場合があります。 Crop : 出力解像度に従ってトリミングを行います。映像の縦や横が切れる場合があります。 Black Fill : 出力解像度のアスペクト比を保持し、余分は黒く表示します。

- Audio

Audio

Audio Output
☒ Decoded Audio
☐ Loopback

Apply

表示	説明
Audio Output	オーディオの出力方式を選択します。 Decoded Audio : エンコーダ (LAN 経由) から受信した音声を、LINE OUT と HDMI OUT から出力します。 デコーダの LINE IN から入力した音声はエンコーダに送信されます。※1 Loopback : デコーダの LINE IN から入力した音声をループバックし、LINE OUT と HDMI OUT から出力します。

※1 デコーダ→エンコーダの音声は、Normal (G.711/AAC) と SRT (AAC) をサポートしています。

- Display Mode

Display Mode

HDMI

Quad

Composite

Quad

Audio in Multi Screen

Mixed Audio

Apply

表示	説明
HDMI	HDMI OUT から出力するビデオソースの表示方法を選択します。 Channel 1-4 : 登録されているチャンネルでローテーション再生を行います。 再生時間は 5~60 秒で設定します。 Quad : 全てのチャンネルを 4 分割で表示します。 Vertical Dual(ch1+ch2) : 左に ch1、右に ch2 の 2 分割で表示します。 Vertical Dual(ch3+ch4) : 左に ch3、右に ch4 の 2 分割で表示します。 Horizontal Dual(ch1+ch2) : 上に ch1、下に ch2 の 2 分割で表示します。

	Horizontal Dual(ch3+ch4) : 上に ch3、下に ch4 の 2 分割で表示します。
Composite	VIDEO OUT から出力するビデオソースの表示方法を選択します。 HDMI の表示方法をご参照ください。
Audio in Multi Screen	2 つ以上のビデオソースを出力する場合、音声出力の設定を行います。 Mixed Audio : 表示されている全てのチャンネルから音声出力します。 Mute Audio : 音声出力を無効にします。 Channel 1-4 : 選択したチャンネルの音声出力します。

9.1.4. Output OSD

Channel#1
Channel#2
Channel#3
Channel#4

User-defined Burn-in OSD

No.	String	X-Coord (0~1000)	Y-Coord (0~1000)	Font Size (12~84)	Color	Enable
1	SRT	5	5	50	Green	<input checked="" type="checkbox"/>
2		0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
3		0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
4		0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
5	Disconnect	450	500	84	Yellow	<input type="checkbox"/>
6	Video Loss	450	500	84	Yellow	<input type="checkbox"/>
7	No Data	480	500	84	Yellow	<input type="checkbox"/>
8	Try Connecting	420	500	84	Yellow	<input type="checkbox"/>

Disable the User OSD which is mapping with Operation OSD.
Reserved keyword will be replaced.(%RA% -> Remote Address)

Operation OSD

	Wait Time	Display	User OSD
At Disconnect	Immediately	Freeze	User-Defined OSD#5
At Video Loss	Immediately	Freeze	User-Defined OSD#6
At No Data	Immediately	Freeze	User-Defined OSD#7
At Try Connecting	Immediately	Freeze	User-Defined OSD#8

Current State OSD

State OSD	X-Coord (0~1000)	Y-Coord (0~1000)	Font Size (12~84)	Color	Enable
Decoding State	5	950	50	White	<input checked="" type="checkbox"/>
Recording State	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
Local SystemID	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
Remote SystemID / List Name	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>
Time	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>

User-Bitmap OSD

OSD Enable Off

Information OSD

Enable Off

Apply

- User-defined Burn-in OSD

User-defined Burn-in OSD						
No.	String	X-Coord (0~1000)	Y-Coord (0~1000)	Font Size (12~84)	Color	Enable
1	SRT	5	5	50	Green ▼	<input checked="" type="checkbox"/>
2		0	0	30	White ▼	<input type="checkbox"/>
3		0	0	30	White ▼	<input type="checkbox"/>
4		0	0	30	White ▼	<input type="checkbox"/>
5	Disconnect	450	500	84	Yellow ▼	<input type="checkbox"/>
6	Video Loss	450	500	84	Yellow ▼	<input type="checkbox"/>
7	No Data	480	500	84	Yellow ▼	<input type="checkbox"/>
8	Try Connecting	420	500	84	Yellow ▼	<input type="checkbox"/>

Disable the User OSD which is mapping with Operation OSD.
Reserved keyword will be replaced. (%RA% -> Remote Address)

表示	説明
String	ディスプレイ上に表示させる任意の文字列を入力します。(最大 20 文字)
X-Coord	X 座標(横の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。
Y-Coord	Y 座標(縦の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。
Font Size	フォントサイズを設定します。
Color	フォントの色を設定します。
Enable	常にディスプレイ上に表示させる場合は、Enable にチェックを入れます。

- Operation OSD

Disconnect やビデオロス等が発生したときの、ディスプレイ状態、OSD 表示の設定を行います。

Operation OSD			
	Wait Time	Display	User OSD
At Disconnect	Immediately ▼	Freeze ▼	User-Defined OSD#5 ▼
At Video Loss	Immediately ▼	Freeze ▼	User-Defined OSD#6 ▼
At No Data	Immediately ▼	Freeze ▼	User-Defined OSD#7 ▼
At Try Connecting	Immediately ▼	Freeze ▼	User-Defined OSD#8 ▼

表示	説明
Wait Time	Action があったときに、OSD を表示するまでの時間を設定します。
Display	Action があったときの画面の状態を選択します。 Freeze : 映像の最後のフレームを表示させます。 Black Screen : 黒い画面を表示させます。 Blue Screen : 青い画面を表示させます。
User OSD	Action が起きた際 OSD を表示する場合は、“User-defined Burn-in OSD” で設定した中から選択します。 ※Enable のチェックは外します。

- Current State OSD

現在のステータス情報を OSD 表示します。

Current State OSD						
State OSD	X-Coord (0~1000)	Y-Coord (0~1000)	Font Size (12~84)	Color	Enable	
Decoding State	5	950	50	White	<input checked="" type="checkbox"/>	
Recording State	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>	
Local SystemID	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>	
Remote SystemID / List Name	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>	
Time	0	0	30	White	<input type="checkbox"/>	

表示	説明
OSD State	ステータス情報を表示します。 Decoding State (圧縮方式・ビットレート・フレームレートのデコード情報)、Recording State (録画容量)、Local System ID (デコーダ本機の ID)、Remote System ID/List Name (エンコーダの ID※1 または Decode List のリスト名)、Time (現在の時刻)
X-Coord	X 座標 (横の位置) を設定します。画面左上が 0 になります。
Y-Coord	Y 座標 (縦の位置) を設定します。画面左上が 0 になります。
Font Size	フォントサイズを設定します。
Color	フォントの色を設定します。
Enable	常に画面に表示する場合、チェックを入れます。

※1 Remote Type を Normal で接続したときのみ、エンコーダの System ID が表示されます。

- User-Bitmap OSD

ビットマップ表示の設定を行います。

User-Bitmap OSD	
OSD Enable	On
X-Coord(0~1000)	0
Y-Coord(0~1000)	0
Current Bitmap	
Upload Bitmap	<input type="button" value="参照..."/> <input type="button" value="Upload Bitmap"/>

表示	説明
OSD Enable	ビットマップの有効(On)/無効(Off)を選択します。
X-Coord	X 座標 (横の位置) を設定します。画面左上が 0 になります。
Y-Coord	Y 座標 (縦の位置) を設定します。画面左上が 0 になります。
Current Bitmap	アップロードしたビットマップを表示します。

Upload Bitmap	参照...をクリックして、ビットマップを選択します。Upload Bitmap をクリックしてアップロードに成功した場合、Current Bitmap に画像が表示されます。 ※使用できるビットマップは 24bit のみです。
----------------------	--

- Information OSD

本機の情報(ファームウェアバージョンや IP アドレス等)について表示を行います。

Information OSD

Enable On ▼

X-Coord(0~1000) 200

Y-Coord(0~1000) 300

Font Size(12~84) 30

Font Color White ▼

Window Color Black ▼

表示	説明
Enable	Information OSD の有効(On)/無効(Off)を設定します。 Model、Version、IP、Remote Type、Remote Address を表示します。
X-Coord	X 座標(横の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。
Y-Coord	Y 座標(縦の位置)を設定します。画面左上が 0 になります。
Font Size	フォントサイズを設定します。
Font Color	フォントの色を設定します。
Window Color	バックのウィンドウの色を設定します。

9.2. Network

SETUP メニュー画面から”Network”タブをクリックします。

Live

Network

- IP&Port
- QoS
- Remote
- Discovery
- SNMP
- DDNS
- IP filtering
- SSL
- Connecting
- Decode List

Local

IP Mode: Fixed IP

Local IP: 192.168.10.100

Local Gateway: 192.168.10.1

Local Subnet: 255.255.255.0

DNS

☐ Obtain DNS server address automatically

☒ Use the following DNS server addresses

Primary DNS Server: 8.8.8.8

Secondary DNS Server: 8.8.8.8

IPv6

IPv6 Address:

IPv6 Subnet Prefix Length: 0

IPv6 Default Gateway:

IPv6 LinkLocal: fe80::21c:63ff:fed7:263/64

Port

➤ Network メニュー

表示	説明
IP&Port	IP アドレスやポート番号、MTU サイズなどの設定を行います。
QoS	QoS を使用し、優先度の設定を行います。
Remote	デコードに関する設定を行います。
Discovery	UPnP、Zeroconf、WS Discovery の設定を行います。
SNMP	SNMP の設定を行います。
DDNS	DDNS の設定を行います。
IP filtering	データのやり取りを行う相手の制限を行います。
SSL	SSL の設定を行います。
Connecting	現在システムに接続しているクライアントを表示します。
Decode List	デコード対象を複数台登録し、自動巡回表示を行います。

9.2.1. IP&Port

<ul style="list-style-type: none"> Video&Audio + Network - IP&Port QoS Remote Discovery SNMP DDNS IP filtering SSL Connecting Decode List Event + Record + Device + PTZ + User + System + 	Local	
	IP Mode	Fixed IP
	Local IP	192.168.10.100
	Local Gateway	192.168.10.1
	Local Subnet	255.255.255.0
	DNS	
	<input type="radio"/> Obtain DNS server address automatically <input checked="" type="radio"/> Use the following DNS server addresses	
	Primary DNS Server	8.8.8.8
	Secondary DNS Server	8.8.8.8
	IPv6	
	IPv6 Address	
	IPv6 Subnet Prefix Length	0
	IPv6 Default Gateway	
	IPv6 LinkLocal	fe80::21c:63ff:fed7:263/64
	Port	
Base Port	2222 (1025~65535)	
HTTP Port	80 (80, 1025~65535)	
HTTPS Port	443 (443, 1025~65535)	
RTSP Port	554 (554, 1025~65535)	
Audio Receive Port	2280 (1025~65535)	
MTU Size		
MTU Size	1500 (default:1500, 68~)	
Multicast		
Multicast IP	224.10.0.0 (224.0.0.0 ~ 239.255.255.255)	
TTL	64 (1~255)	
<input type="button" value="Apply"/>		

- Local

Local

IP Mode Fixed IP ▼

Local IP 192.168.10.100

Local Gateway 192.168.10.1

Local Subnet 255.255.255.0

表示	説明
IP Mode	Fixed IP (手動設定) または DHCP (自動取得) を選択します。
Local IP	IP アドレスを設定します。 初期値 : 192.168.10.100
Local Gateway	デフォルトゲートウェイを設定します。 初期値 : 192.168.10.1
Local Subnet	サブネットマスクを設定します。 初期値 : 255.255.255.0

※Local 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

- DNS

DNS

☐ Obtain DNS server address automatically

☒ Use the following DNS server addresses

Primary DNS Server 8.8.8.8

Secondary DNS Server 8.8.8.8

表示	説明
Obtain DNS Server Address automatically	IP モードが DHCP の場合、DNS サーバのアドレスを自動取得します。
Use the following DNS server address	Primary 及び Secondary DNS サーバのアドレスを手動で設定します。
Primary DNS Server	Primary の DNS サーバのアドレスを入力します。
Secondary DNS Server	Secondary の DNS サーバのアドレスを入力します。

※DNS 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

- IPv6

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

IPv6	
IPv6 Address	<input type="text"/>
IPv6 Subnet Prefix Length	<input type="text" value="0"/>
IPv6 Default Gateway	<input type="text"/>
IPv6 LinkLocal	<u>fe80::21c:63ff:fed7:263/64</u>

- Port

Port	
Base Port	<input type="text" value="2222"/> (1025~65535)
HTTP Port	<input type="text" value="80"/> (80, 1025~65535)
HTTPS Port	<input type="text" value="443"/> (443, 1025~65535)
RTSP Port	<input type="text" value="554"/> (554, 1025~65535)
Audio Receive Port	<input type="text" value="2280"/> (1025~65535)

表示	説明
Base Port	ベースポート番号を入力します。 初期値 : 2222[1025~65535] ※変更した場合、本機は自動で再起動を行います。
HTTP Port	Web ベースの接続に使用する HTTP ポート番号を入力します。 初期値 : 80[1025~65535]
HTTPS Port	HTTPS ポート番号を入力します。 初期値 : 443[1025~65535]
RTSP Port	RTSP ベースの接続に使用する RTSP ポート番号を入力します。 初期値 : 554[1025~65535]
Audio Receive Port	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

- MTU Size

MTU Size	
MTU Size	<input type="text" value="1500"/> (default: 1500, 68~)

表示	説明
MTU Size	一度に送信できる最大データ量を設定します。 初期値 : 1500

※MTU Size 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

- Multicast

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

Multicast	
Multicast IP	<input type="text" value="224.10.0.0"/> (224.0.0.0 ~ 239.255.255.255)
TTL	<input type="text" value="64"/> (1~255)

※Multicast 設定を変更した場合、本機は自動で再起動を行います。

9.2.2. QoS

Video&Audio +

Network -

IP&Port

QoS

Remote

Discovery

SNMP

DDNS

IP filtering

SSL

Connecting

Decode List

Event +

Record +

Device +

PTZ +

User +

System +

QoS

QoS Enable Off ▼

Apply

● QoS

QoS

QoS Enable On ▼

DSCP 0 (0~63)

Apply

表示	説明
QoS Enable	QoS を有効にする場合、On にします。
DSCP	DSCP の値を入力します。[0-63]

9.2.3. Remote

- Remote

表示	説明
Web Display	Web ブラウザの Live メニューに表示させるビデオソースを Remote #1-4 から選択します。 VLC 等に【rtsp://<Decoder IP>:<RTSP Port>/video1】を入力すると、選択した Remote 番号のビデオソースを表示します。
Recoding	録画を行うビデオソースを Remote #1-4 から選択します。
Remote #1-4	ビデオソースを最大 4 つ設定できます。 各ビデオソースの説明は以下に示します。

※“Remote”にて映像受信を設定すると、画面表示していない場合もバックグラウンドでストリームを受信し続けます。

➤ Normal

TCS-9500(エンコーダ)とTCS-1700(デコーダ)の接続

Remote #1	Remote #2	Remote #3	Remote #4
Remote Type <input type="text" value="Normal"/>			
Media Protocol <input type="text" value="TCP"/>			
Address <input type="text" value="192.168.10.200"/>			
Port <input type="text" value="2222"/>			
Remote Channel <input type="text" value="Channel#1"/>			
Use Streaming Server <input type="text" value="Off"/>			
SS IP Address <input type="text" value="0.0.0.0"/>			
SS Port <input type="text" value="2222"/>			
ID <input type="text"/>			
Password <input type="text"/>			
Overlapped Connection <input type="text" value="Enable"/> (Keep previous connection until new connection is established.)			

表示	説明
Remote Type	Normal を選択します。
Media Protocol	TCP、UDP、Multicast の中から選択します。
Address	接続する TCS-9500 の IP アドレスを入力します。
Port	接続する TCS-9500 のベースポート番号を入力します。
Remote Channel	エンコーダから受信するチャンネルを選択します。 TCS-9500 は Channel#1 (Secondary#1-3 含む) のみ選択できます。
Use Streaming Server	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
SS IP Address	
SS Port	
ID	
Password	
Overlapped Connection	新しい接続が確立されるまで、以前の接続を保持します。

※双方向音声対応 (Algorithm は G.711/AAC 対応)

➤ RTSP

RTSP プロトコルによる接続

Remote #1	Remote #2	Remote #3	Remote #4
Remote Type <input type="text" value="RTSP"/>			
Media Protocol <input type="text" value="TCP"/>			
Address <input type="text" value="rtsp://admin:1234@192.168.10.200/video1+audio1"/>			
Port <input type="text" value="554"/>			
Overlapped Connection <input type="text" value="Enable"/> (Keep previous connection until new connection is established.)			

表示	説明
Remote Type	RTSP を選択します。
Media Protocol	TCP、UDP、Multicast の中から選択します。
Address	RTSP ストリーム URL を入力します。
Port	接続するエンコーダの RTSP ポート番号を入力します。 ※RTSP ストリーム URL の中で、ポート番号を指定している場合は 0 を入力します。
Overlapped Connection	新しい接続が確立されるまで、以前の接続を保持します。

上図の Address は TCS-9500 の RTSP 認証が有効である場合の URL を入力しています。

rtsp://<ID>:<Password>@<IP address>:<Port>/video1

RTSP 認証が無効の場合は、ID と Password の入力を省略できます。

➤ RTP

RTP プロトコルによる接続

Remote #1	Remote #2	Remote #3	Remote #4
<div>Remote Type <input type="text" value="RTP"/></div> <div>Media Protocol <input type="text" value="UDP"/></div> <div>Address <input type="text" value="rtsp://admin:1234@192.168.10.210/video1"/></div> <div>Port <input type="text" value="21000"/></div> <div>Video Resolution <input type="text" value="1920x1080"/></div> <div>Overlapped Connection <input type="text" value="Enable"/> (Keep previous connection until new connection is established.)</div>			

表示	説明
Remote Type	RTP を選択します。
Media Protocol	UDP、Multicast の中から選択します。
Address	RTP ストリーム URL を入力します。 <i>rtsp://<ID>:<Password>@<IP address>/video1</i>
Port	接続するエンコーダの RTP ポート番号を入力します。
Video Resolution	エンコード解像度と一致させる必要があります。
Overlapped Connection	新しい接続が確立されるまで、以前の接続を保持します。

➤ MPEG-TS(UDP)

MPEG-TS によるユニキャスト接続

Remote #1	Remote #2	Remote #3	Remote #4
<div>Remote Type <input type="text" value="MPEG-TS"/></div> <div>Address <input type="text"/></div> <div>Port <input type="text" value="50000"/></div> <div>Overlapped Connection <input type="text" value="Enable"/> (Keep previous connection until new connection is established.)</div>			

MPEG-TS によるマルチキャスト接続

Remote #1	Remote #2	Remote #3	Remote #4
<div>Remote Type <input type="text" value="MPEG-TS"/></div> <div>Address <input type="text" value="239.1.1.1"/></div> <div>Port <input type="text" value="60000"/></div> <div>Overlapped Connection <input type="text" value="Enable"/> (Keep previous connection until new connection is established.)</div>			

表示	説明
Remote Type	MPEG-TS を選択します。
Address	ユニキャストの場合は空白にします。(エンコーダで宛先 IP アドレス指定) マルチキャストの場合は、マルチキャストアドレスを入力します。
Port	エンコーダと共通のポート番号を入力します。
Overlapped Connection	新しい接続が確立されるまで、以前の接続を保持します。

➤ ONVIF

ONVIF 対応の IP カメラと接続

Remote #1
Remote #2
Remote #3
Remote #4

Remote Type ONVIF
Media Protocol TCP
Address 192.168.10.101
Port 80
ID admin
Password
Profile profile1
Overlapped Connection Enable (Keep previous connection until new connection is established.)

Authentication may fail if the time setting of the device does not match up with the camera being connected.

Get Profile List

表示	説明
Remote Type	ONVIF を選択します。
Media Protocol	TCP、UDP、Multicast の中から選択します。
Address	IP カメラの IP アドレスを入力します。
Port	IP カメラの ONVIF で使用するポート番号を入力します。
ID	IP カメラのログイン名を入力します。
Password	IP カメラのログインパスワードを入力します。
Profile	デコードするストリームのプロファイルを選択します。 Get Profile List ボタンをクリック後に、表示されます。
Overlapped Connection	新しい接続が確立されるまで、以前の接続を保持します。
Get Profile List	“Get Profile List”をクリックすると、ストリームのプロファイルを取得できます。

➤ RTMP

RTMP (Real Time Messaging Protocol) サーバを介して接続

Remote #1	Remote #2	Remote #3	Remote #4
<div> Remote Type <input type="text" value="RTMP"/> </div>			
<div> Address <input type="text" value="Destination IP/treamName"/> </div>			
<div> Token <input type="text"/> </div>			
<div> Overlapped Connection <input type="text" value="Enable"/> <small>(Keep previous connection until new connection is established.)</small> </div>			

表示	説明
Remote Type	RTMP を選択します。
Address	RTMP ストリーミングサーバの Destination IP (配信サーバ名)/Stream Name (配信ストリーム名)を入力します。
Overlapped Connection	新しい接続が確立されるまで、以前の接続を保持します。

➤ SRT

SRT(Secure Reliable Transport)は、映像データの暗号化、パケットロスのリカバリ機能等により、不安定なネットワーク環境でも安全でロスに強い映像伝送を可能にします。

エンコーダ : Listener / TCS-1700 : Caller による接続

Remote #1 Remote #2 Remote #3 Remote #4

Remote Type SRT

Mode Caller

Address 192.168.10.200

Port 12345

Secure AES-256

Passphrase

Latency 250 ms (60 ~ 8000)

Overlapped Connection Enable (Keep previous connection until new connection is established.)

表示	説明
Remote Type	SRT を選択します。
Mode	Caller を選択します。 エンコーダが Listener である場合、デコーダは Caller を選択します。
Address	宛先 IP アドレスまたはドメイン名を入力します。
Port	Listener と Caller で共通のポート番号を設定します。
Secure	AES-128 または AES-256 を選択し、AES 暗号化を有効にできます。
Passphrase	エンコーダとデコーダで、暗号化の共通のキーを入力してください。 (AES-128 の場合は 10-16 文字、AES-256 の場合は 10-32 文字)
Latency	レイテンシ(遅延時間)を設定します。 パケットロス発生時にリカバリに割り当てる遅延時間の確保を推奨します。
Overlapped Connection	新しい接続が確立されるまで、以前の接続を保持します。

※双方向音声対応 (Algorithm は AAC のみ対応)

エンコーダ : Caller / TCS-1700 : Listener による接続

Remote #1	Remote #2	Remote #3	Remote #4
Remote Type <input type="text" value="SRT"/>			
Mode <input type="text" value="Listener"/>			
Port <input type="text" value="12345"/>			
Secure <input type="text" value="AES-256"/>			
Passphrase <input type="password" value="●●●●●●●●"/>			
Latency <input type="text" value="250"/> ms (60 ~ 8000)			
Overlapped Connection <input type="text" value="Enable"/> (Keep previous connection until new connection is established.)			

表示	説明
Remote Type	SRT を選択します。
Mode	Listener を選択します。 エンコーダが Caller である場合、デコーダは Listener を選択します。
Port	Listener と Caller で共通のポート番号を設定します。
Secure	AES-128 または AES-256 を選択し、AES 暗号化を有効にできます。
Passphrase	エンコーダとデコーダで、暗号化の共通のキーを入力してください。 (AES-128 の場合は 10-16 文字、AES-256 の場合は 10-32 文字)
Latency	レイテンシ(遅延時間)を設定します。 パケットロス発生時に再送要求を行うための遅延時間の確保を推奨します。
Overlapped Connection	新しい接続が確立されるまで、以前の接続を保持します。

9.2.4. Discovery

The screenshot shows the 'Discovery' configuration page. On the left is a sidebar menu with categories like Video&Audio, Network, Event, Record, Device, PTZ, User, and System. Under the 'Network' category, 'Discovery' is selected and highlighted in red. The main content area is titled 'Discovery' and contains three settings:

- UPnP: ☐ Off ☒ On
- Zeroconf: ☐ Off ☒ On
- WS Discovery: ☐ Off ☒ On

An 'Apply' button is located at the bottom right of the settings area.

● Discovery

This is a smaller version of the Discovery settings page shown in the previous image. It displays the same three settings: UPnP, Zeroconf, and WS Discovery, all of which are set to 'On' using radio buttons. The 'Apply' button is also present at the bottom right.

表示	説明
UPnP	UPnP 機能の有効/無効を選択します。 ネットワーク探索機能によって本機を発見できるようになります。
Zeroconf	Zeroconf 機能の有効/無効を選択します。 ホスト名が割り当てられ、ホスト名を使用して本機にアクセスできるようになります。
WS Discovery	WS Discovery 機能の有効/無効を選択します。 Onvif をサポートしているクライアントからの検出ができるようになります。

※TCS-1700 が検出されない場合は、ファイアウォールを無効にしてください。

9.2.5. SNMP

● SNMP

表示	説明
SNMP Listen Port	SNMP の待ち受けポートを設定します。 初期値 : 161 [1025-65535] ※0 を設定すると SNMP は無効
SNMP Trap Destination IP	SNMPトラップの送信先 IP を設定します。
SNMP Trap Destination Port	SNMPトラップの送信先ポートを設定します。 初期値 : 162 [1025-65535] ※0 を設定すると SNMP Trap は無効
SNMP Version	SNMP バージョンを 1/2c/3 から選択します。SNMP v3 を選択した場合は、「User Authentication and Privacy (v3)」を設定します。

※SNMPトラップを使用する場合は、ファイアウォールを無効にする必要があります。

「Sensor1/2」が動作することで、トラップは発生します。

- User Authentication and Privacy (v3)

SNMP Version で 3 を選択した場合、以下の設定を行います。

User Authentication and Privacy (v3)

User

Authentication Protocol none ▼

Authentication Password

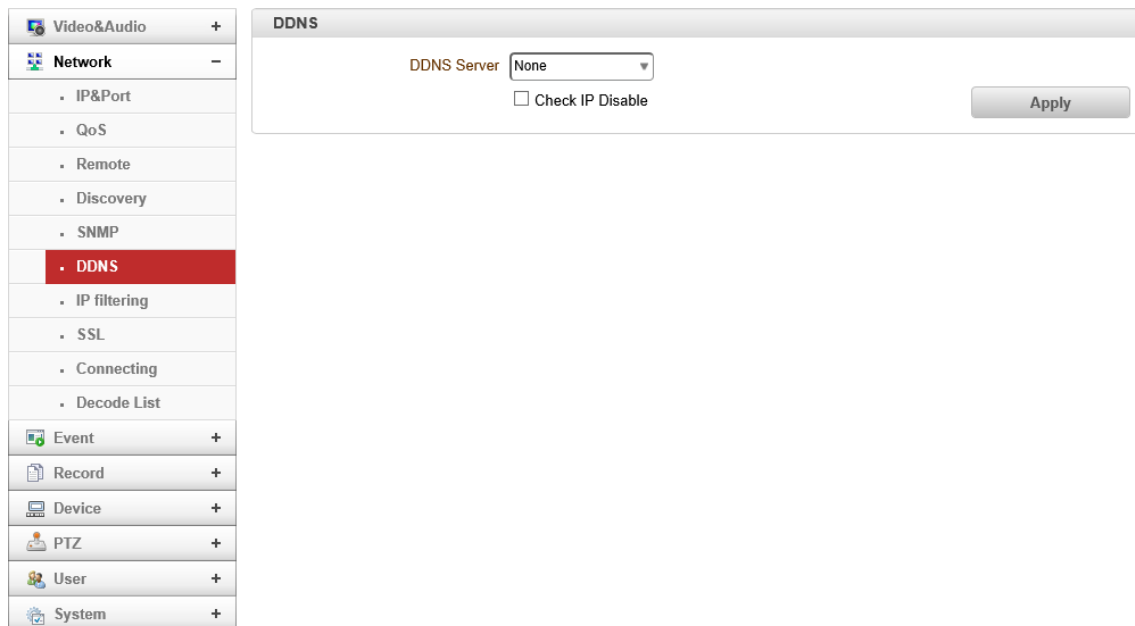
Privacy Protocol none ▼

Privacy Password

表示	説明
User	ユーザ名を入力します。
Authentication Protocol	認証プロトコルを None (ユーザ名で認証)、MD5、SHA から選択します。
Authentication Password	認証パスワードを入力してください。※9 文字以上
Privacy Protocol	暗号化プロトコルを none (暗号化なし)、Des、Aes128 から選択します。
Privacy Password	暗号化パスワードを入力してください。※9 文字以上

9.2.6. DDNS

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。



9.2.7. IP filtering

IP Filtering

Basic Policy: Allow all

Access from IPs in the following list will not be allowed.

No.	From	To	Enable
1	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
2	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
3	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
4	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
5	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
6	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
7	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
8	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
9	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
10	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
11	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
12	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
13	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
14	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
15	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
16	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
17	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
18	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
19	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>
20	0.0.0.0	0.0.0.0	<input type="checkbox"/>

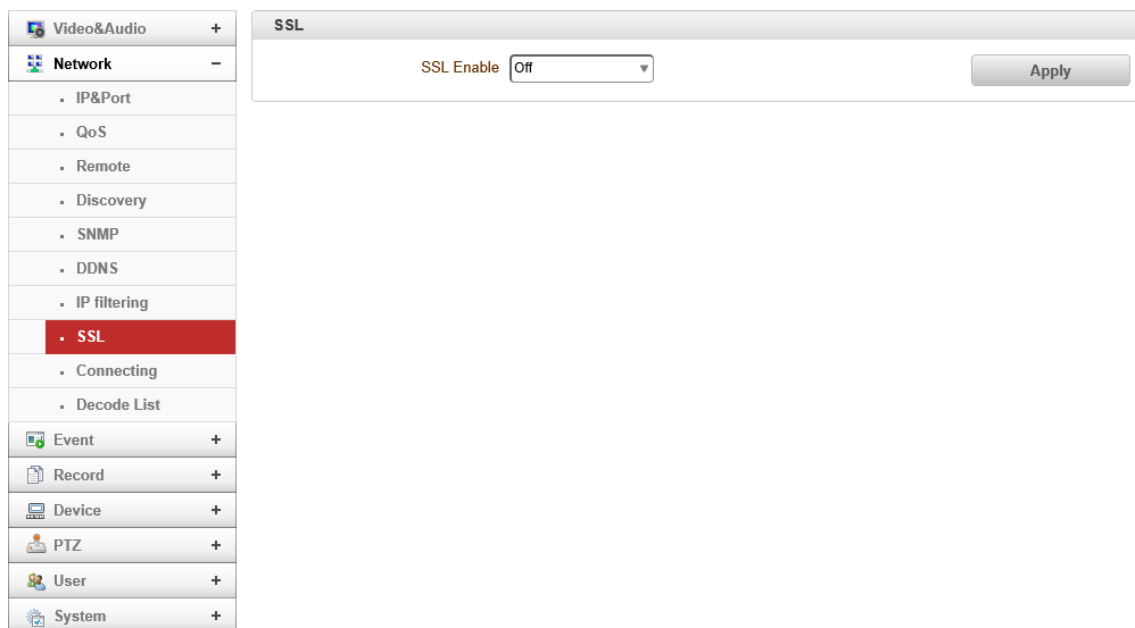
Apply

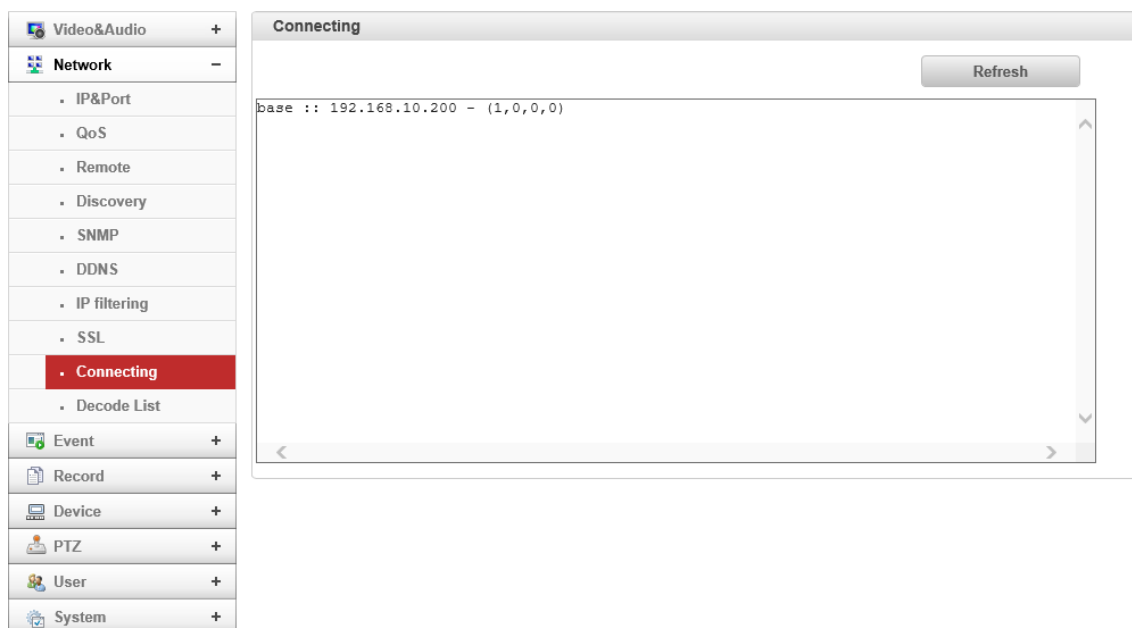
● IP Filtering

表示	説明
Basic Policy	Allow all : リストにある IP アドレスからのアクセスを拒否します。 Deny all : リストにある IP アドレスからのみアクセスを許可します。
From / To	アクセスを拒否または許可したい IP アドレスの範囲を入力します。
Enable	制限を有効にする場合、チェックを入れます。

9.2.8. SSL

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。



9.2.9. Connecting

表示	説明
Connecting	現在システムに接続しているクライアント IP アドレスが記載されます。
Refresh	表示を更新します。

9.2.10. Decode List

表示	説明
Switching Decode List Enable	Decode List を有効にする場合はチェックを入れます。 無効の場合は、 9.2.3. Remote で設定したビデオソースを再生します。
Name	ビデオソースの名前を入力します。
URL	URL や IP アドレスを入力します。 ※URL 全体の入力文字数に制限あり(1500 文字程度)
Type	ビデオソースの種類を選択します。(SRT は未サポート) 各ソースの設定方法は、 9.2.3. Remote を参照してください。
Detail/Hide	設定の詳細を表示または非表示します。
Time	巡回再生を行う場合、各ソースの再生時間を設定します。
Enable	各ビデオソースの再生を有効にする場合は、チェックを入れます。チェックが外れていると、そのソースは再生されません。 2 つ以上のビデオソースにチェックを入れた場合、巡回再生を行います。

9.3. Event

SETUP メニュー画面から”Event”タブをクリックします。

The screenshot shows the 'Event' configuration screen. On the left, a sidebar menu lists various setup categories: Video&Audio, Network, Event (highlighted with a red circle), Notification (expanded), User Defined Event, Audio Detection, Sensor, Alarm, HTTP Action, Record, Device, PTZ, User, and System. The main content area is titled 'Event' and is divided into three sections: 'Local', 'Remote', and 'On Disconnect'. Each section contains a table of sensors with columns for 'Beep', 'Alarm 1', 'Alarm 2', and 'Http Action'. The 'Local' section has two sensors, 'Remote' has four sensors, and 'On Disconnect' has one sensor. Each sensor row has a 'Beep' button, two 'Alarm' buttons, and a 'Http Action' dropdown menu.

➤ Event メニュー

表示	説明
Notification	イベント発生時の対応方法の選択を行います。
User Defined Event	イベントの種類(時間変更、録画ステータスの異常)の選択を行います。
Audio Detection	検知する音声の制限をかけられます。
Sensor	センサーのタイプ・スケジュールの設定を行います。
Alarm	イベント発生時のアラームまたはビーブ音の長さの設定を行います。
HTTP Action	イベント発生時に作動させる HTTP API の設定を行います。

9.3.1. Notification

<ul style="list-style-type: none"> Video&Audio + Network + Event - <ul style="list-style-type: none"> Notification User Defined Event Audio Detection Sensor Alarm HTTP Action Record + Device + PTZ + User + System + 	Local				
	Sensor 1	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
	Sensor 2	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
	Remote				
	Sensor 1	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
	Sensor 2	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
	Sensor 3	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
	Sensor 4	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
	On Video Loss	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
	On Motion	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
	Audio Detection	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
	On Disconnect				
	On Disconnect	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
	User Defined Event				
	User Defined 1	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
User Defined 2	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼	
User Defined 3	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼	
User Defined 4	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼	
Apply					

- Local

Local(TCS-1700)のセンサーが起動したときのアクションを設定します。

Local				
Sensor 1	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
Sensor 2	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼

- Remote

Remote(エンコーダ側)のイベントに対するアクションを設定します。

Remote				
Sensor 1	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
Sensor 2	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
Sensor 3	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
Sensor 4	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
On Video Loss	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
On Motion	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
Audio Detection	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼

- On Disconnect

リンク(接続)が切断されたときのアクションを設定します。

On Disconnect				
On Disconnect	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼

- User Defined Event

User Defined Event で設定したイベントに対するアクションを設定します。

User Defined Event				
User Defined 1	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
User Defined 2	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
User Defined 3	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼
User Defined 4	Beep	Alarm1	Alarm2	Http Action Off ▼

各アクションについて

表示	説明
Beep	本機からビープ音が鳴ります。
Alarm	アラーム 1 またはアラーム 2 のリレー回路を作動させます。
HTTP API	HTTP API を送信します。

9.3.2. User Defined Event

Video&Audio +
Network +
Event -
 Notification
 User Defined Event
 Audio Detection
 Sensor
 Alarm
 HTTP Action
Record +
Device +
PTZ +
User +
System +

User Defined Event

User Defined 1 None ▾
User Defined 2 None ▾
User Defined 3 None ▾
User Defined 4 None ▾

Apply

- User Defined Event

User Defined Event

User Defined 1 Time Changed ▾
User Defined 2 Record Status ▾
User Defined 3 None ▾
User Defined 4 None ▾

Apply

表示	説明
Time Change	システム時間が変更されたときにイベントを発生させます。
Record Status	録画の異常停止や USB ディスクの切断など、録画ステータスが異常と判断されたときにイベントを発生させます。

9.3.3. Audio Detection

- Audio Detection

表示	説明
Mode	Silence Detection または Sound Detection を選択します。
Detection Level	<p>音声検知の閾値(レベル)を設定します。[-10dBFS]～[-60dBFS]</p> <p>Silence Detection を選択した場合は、閾値より音声信号が小さい場合にイベントを発生させます。</p> <p>Sound Detection を選択した場合は、閾値より音声信号が大きい場合にイベントを発生させます。</p>
Duration	<p>Silence と Sound で、検知のイベントを発生させるタイミングが異なります。</p> <p>Silence : 閾値より音声信号が小さい時間が Duration 時間を超えたときに、イベント発生させます。</p> <p>Sound : 閾値より音声信号が大きくなるとイベントが発生し、Duration ではイベント持続時間を設定します。</p>

9.3.4. Sensor

Video&Audio +

Network +

Event -

Notification

User Defined Event

Audio Detection

Sensor

Alarm

HTTP Action

Record +

Device +

PTZ +

User +

System +

Sensor Type

Sensor 1

Off ☒ N/O ☐ N/C

Sensor 2

Off ☒ N/O ☐ N/C

Sensor Schedule

Select

☒ Sensor Off ☐ Sensor On

Sensor 1

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

Sensor 2

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

Apply

- Sensor Type

Sensor Type

Sensor 1

Off ☒ N/O ☐ N/C

Sensor 2

Off ☒ N/O ☐ N/C

表示	説明
Off	センサーを使用しません。
N/O	ポートが開いている状態が正常で、閉じたときにイベントが発生するように設定します。(Normally Open)
N/C	ポートが閉じている状態が正常で、開いたときにイベントが発生するように設定します。(Normally Close)

- Sensor Schedule

Sensor Schedule

Select ☒ Sensor Off ☐ Sensor On

Sensor 1

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

Sensor 2

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

表示	説明
Select	Sensor Off(無効)または Sensor On(有効)を選択します。
Sensor 1~2	クリックまたはドラッグでセンサーのスケジュール表を作成します。 青色部分が有効な時間帯、グレー部分が無効な時間帯を表します。

9.3.5. Alarm

Video&Audio +
Network +
Event -
 Notification
 User Defined Event
 Audio Detection
 Sensor
 Alarm
 HTTP Action
Record +
Device +
PTZ +
User +
System +

Alarm

Beep Duration Synchronous
Alarm1 Duration 1 sec
Alarm2 Duration 1 sec

Apply

● Alarm

Alarm

Beep Duration Synchronous
Alarm1 Duration 1 sec
Alarm2 Duration 1 sec

Apply

表示	説明
Beep Duration	ビーブ音が鳴る継続時間を設定します。
Alarm1/2 Duration	アラーム回路を短絡させる継続時間を設定します。

Duration について

表示	説明
Synchronous	関連付けたイベントが発生している間、ビーブ音またはアラーム回路を作動させます。
1, 5, 10, 30, 60 sec	発生後も 1/5/10/30/60 秒間、ビーブ音またはアラーム回路を作動し続けます。 ※設定時間より若干長い可能性があります。(＋数秒)
Continuous	手動で止めるまで、ビーブ音またはアラーム回路を作動させます。

9.3.6. HTTP Action

Video&Audio +	HTTP Action					
Network +	No.	String	Auth Type	ID	PW	Enable
Event -	1.	<input type="text"/>	None ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
Notification	2.	<input type="text"/>	None ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
User Defined Event	3.	<input type="text"/>	None ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
Audio Detection	4.	<input type="text"/>	None ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
Sensor	Apply					
Alarm						
HTTP Action						
Record +						
Device +						
PTZ +						
User +						
System +						

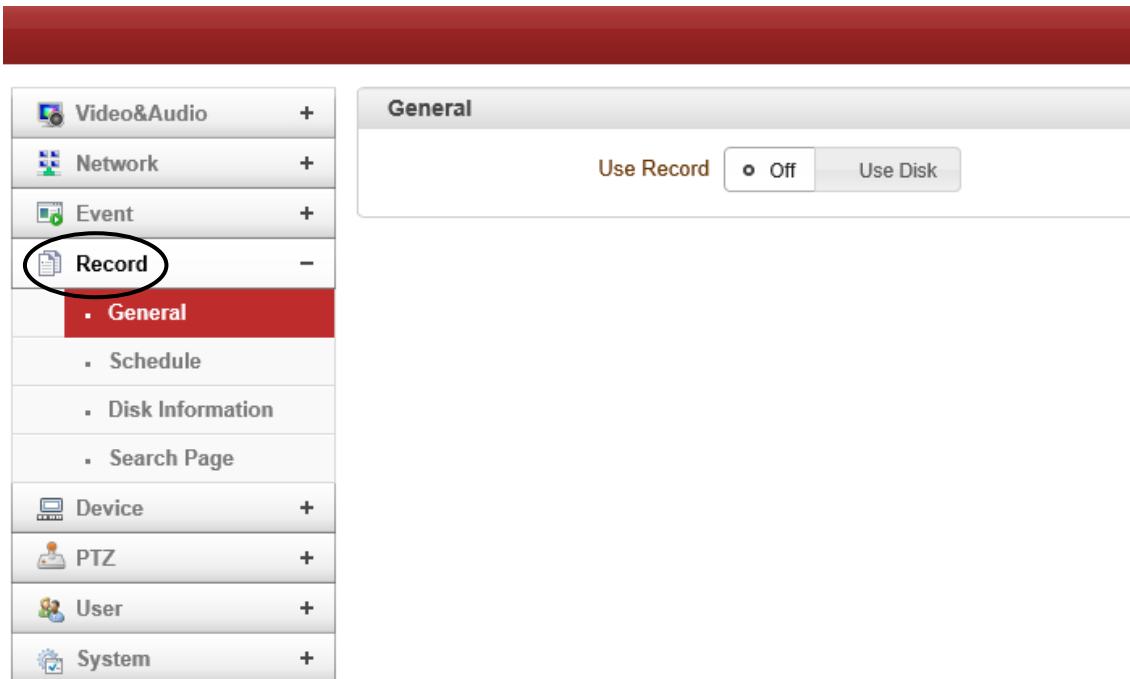
- HTTP Action

HTTP Action						
No.	String	Auth Type	ID	PW	Enable	
1.	<input type="text"/>	None ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	
2.	<input type="text"/>	None ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	
3.	<input type="text"/>	None ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	
4.	<input type="text"/>	None ▼	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	

表示	説明
String	HTTP API の命令を入力します。 入力文字列については、下記の「HTTP API の入力例」をご参照ください。
Auth Type	User > Login Policy の認証タイプに従って、HTTP API の認証タイプを設定します。 Auth Type の選択方法は、「Auth Type の設定基準」をご参照ください。
ID	ログイン時に使用するユーザ名を入力します。
PW	ログイン時に使用するパスワードを入力します。
Enable	入力した命令の有効/無効を設定します。

9.4. Record

SETUP メニュー画面から”Record”タブをクリックします。



➤ Record メニュー

表示	説明
General	録画の設定を行います。
Schedule	録画のスケジュール設定を行います。
Disk Information	録画情報や容量が確認できます。
Search Page	録画されたデータを探すことができます。

9.4.1. General

The screenshot shows the 'General' settings page. On the left, a sidebar menu lists various system settings: Video&Audio, Network, Event, Record (expanded), General (selected), Schedule, Disk Information, Search Page, Device, PTZ, User, and System. The main content area is titled 'General' and contains the 'Use Record' section. It shows 'Use Record' set to 'Off' and 'Use Disk' selected. An 'Apply' button is located at the bottom right of the settings area.

- General

This screenshot provides a detailed view of the 'General' settings. The 'Use Record' section has 'Off' and 'Use Disk' buttons. Below this, 'Manual Record' is set to 'On'. The 'Overwrite' section has 'Off' and 'On' buttons. 'Max File Size' is set to '100M bytes', 'Max File Length' is set to '10 Minutes', and 'Record File Format' is set to 'AVI'.

表示	説明
Use Record	Off：録画機能が OFF になります。 Use Disk：録画機能が ON になります。設定後に再起動します。
Manual Record	Off：スケジュール通りに録画します。 On：スケジュール関係なく常時録画を行います。
Overwrite	ディスクが容量不足になると、最も古いデータから削除されます。
Max File Size	録画ファイルのサイズを制限するため、最大ファイルサイズを選択します。
Max File Length	録画ファイルの時間の長さを制限するため、録画の最大時間を選択します。
Record File format	録画ファイル形式を MP4※1または AVI から選択します。

※1 MP4 の注意事項

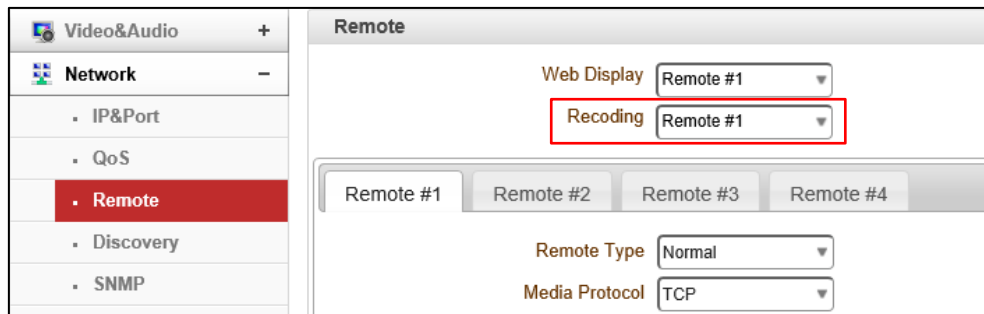
MP4 で録画する場合は、H.264 を推奨します。

MJPEG での録画は未サポートとなります。(AVI での録画は可能)

デコーダで録画機能を使用する場合

デコーダで受信した映像を録画します。

デコーダの [9.2.3. Remote](#) にて、最大 4 ストリームのデコード設定を行います。「Recoding」でその中から 1 つを選択し録画を行います。



※解像度やフレームレート、画質等は、HDMI 出力と同じ条件で録画を行います。

9.4.2. Schedule

Video&Audio +
Network +
Event +
Record -
General
Schedule
Disk Information
Search Page
Device +
PTZ +
User +
System +

Schedule Table

Select

Record Off

Continuous

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

Apply

- Schedule Table

Schedule Table

Select

Record Off

Continuous

Disconnect

Event Type 1
Event Type 2
Event Type 3
Event Type 4

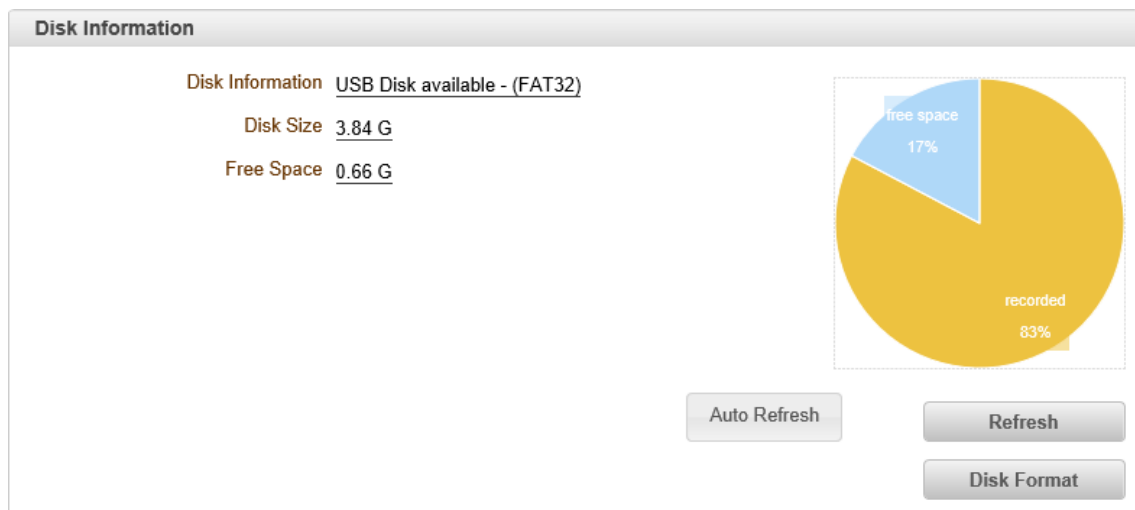
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
SUN																								
MON																								
TUE																								
WED																								
THU																								
FRI																								
SAT																								

表示	説明
Select	Record Off、Continuous から選択します。 Record Off：録画を行いません。 Continuous：常に録画を行います。

9.4.3. Disk Information



- Disk Information



表示	説明
Disk Information	ディスクのステータスを表示します。 詳細は下記の <u>Disk Information</u> を参照してください。
Disk Size	ディスクの容量を表示します。
Free Space	ディスクの空き容量を表示します。
Auto Refresh	1 分間隔で自動的に更新します。
Refresh	クリックすると更新します。
Disk Format	ディスクをフォーマットして、本機を再起動します。

Disk Information

ディスクステータス	説明
Disk error detected	エラーを検出しました。
Not disk	システムにディスクが接続されていません。
Searching Disk Information	ディスクのステータスを確認しています。ページを更新またはステータスが変更されるまで待機してください。
Mounting and Recovering Disk	ディスクの損傷が見つかったときに、リカバリプロセスを実行します。回復には数秒から数分かかります。
Disk format needed	ディスクは接続されていますが、ファイルシステムの種類が不明、または破損している可能性があります。
Unknown disk type detected	
USB Disk available	USB ディスクは使用可能です。
Disk removed or in abnormal state	動作中にディスクがデータ化されるか、ファイルシステムに損傷があります。ディスクをフォーマットすることを推奨します。

USB ディスクについて

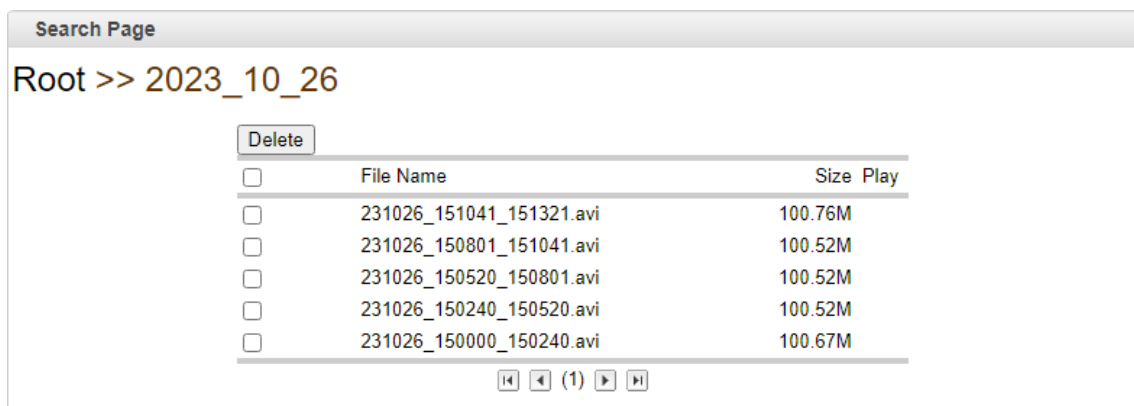
- ・ USB メモリースティックまたはUSB HDD (外部電源付き) を使用でき、1GB 以上を推奨します。
- ・ ファイルシステムは「FAT32」のみサポートしています。
- ・ 録画と監視を同時に行う場合は、4Mbps 以下のビットレートを推奨します。パフォーマンスの制限によりフレームの欠落が発生する可能性があります。
- ・ USB ディスクを正常に読み取れなかった場合は、Disk Format を行ってください。システムは再起動を行い、起動時にディスクのステータスを読み取り初期化します。

9.4.4. Search Page



表示	説明
Search Page	録画した日付を表示します。 日付をクリックすると、下のように表示されます。 ※File Name をクリックすると、録画した動画を見ることができます。

日付けをクリックし、録画ファイルを確認



表示	説明
File Name	録画時間がファイル名となります。 ファイル名をクリックすると、録画ファイルを保存できます。
Size	録画ファイルの容量を表示します。
Play	をクリックして録画ファイルを再生します。(MP4 のみ)※1
Delete	削除したいファイルにチェックを入れ をクリックすると、録画ファイルが削除されます。

※1 録画ファイルの再生は、VLC media player を推奨します。他のプレイヤーでは、音声再生されない場合があります。

9.5. Device

SETUP メニュー画面から”Device”タブをクリックします。



The screenshot shows the SETUP menu on the left with the 'Device' tab selected and circled. Below it, the 'device information' window is displayed, showing the status of COM1 and COM2 ports.

device information			
COM1	Tx=0 (bps)	Rx=0 (bps)	
COM2	Tx=0 (bps)	Rx=0 (bps)	

➤ Device メニュー

表示	説明
Information	シリアル通信の状態を表示します。
Serial	シリアルポートの設定を行います。

9.5.1. Information

Video&Audio +	<div>device information</div> <table> <tr> <td>COM1</td> <td>Tx=0 (bps)</td> <td>Rx=0 (bps)</td> </tr> <tr> <td>COM2</td> <td>Tx=0 (bps)</td> <td>Rx=0 (bps)</td> </tr> </table>	COM1	Tx=0 (bps)	Rx=0 (bps)	COM2	Tx=0 (bps)	Rx=0 (bps)
COM1		Tx=0 (bps)	Rx=0 (bps)				
COM2		Tx=0 (bps)	Rx=0 (bps)				
Network +							
Event +							
Record +							
Device -							
Information							
Serial							
PTZ +							
User +							
System +							

● Device information

表示	説明
COM1 / COM2	現在のシリアル通信の状態(送受信)を表示します。

9.5.2. Serial

Video&Audio +
Network +
Event +
Record +
Device -
 Information
 Serial
PTZ +
User +
System +

COM1 (RS-232 Port)

Protocol RS-232
Bitrate 9600 bps
Data Bit 8 Bits
Parity None
Stop Bit 1 Bits
Pass Through TCP Port 0 (0=Disable)

COM2 (RS-422/485 Port)

Protocol RS-485
Bitrate 2400 bps
Data Bit 8 Bits
Parity None
Stop Bit 1 Bits
Pass Through TCP Port 0 (0=Disable)
485 Terminating Resistors Off

Apply

- COM1 (RS-232 Port)

COM1 (RS-232 Port)

Protocol RS-232
Bitrate 9600 bps
Data Bit 8 Bits
Parity None
Stop Bit 1 Bits
Pass Through TCP Port 0 (0=Disable)

表示	説明
Protocol	RS-232 で固定されます。
Bitrate	ビットレートを選択します。
Data Bit	データビットを選択します。
Parity	パリティビットを選択します。
Stop Bit	ストップビットを選択します。
Pass Through TCP Port	パススルーで使用する TCP ポートを入力します。

- COM-2 (RS-422/485 Port)

COM2 (RS-422/485 Port)

Protocol RS-485 ▼

Bitrate 2400 ▼ bps

Data Bit 8 ▼ Bits

Parity None ▼

Stop Bit 1 ▼ Bits

Pass Through TCP Port 0 (0=Disable)

485 Terminating Resistors Off ▼

表示	説明
Protocol	RS-422 または RS-485 を選択します。
Bitrate	ビットレートを選択します。
Data Bit	データビットを選択します。
Parity	パリティビットを選択します。
Stop Bit	ストップビットを選択します。
Pass Through TCP Port	パススルーで使用する TCP ポートを入力します。
485 Terminating Resistors	終端抵抗の有効/無効を選択します。

9.6. PTZ

SETUP メニュー画面から”PTZ”タブをクリックします。

The screenshot shows the PTZ configuration interface. The left sidebar contains the following items: Video&Audio (+), Network (+), Event (+), Record (+), Device (+), PTZ (circled, -), General (red bar), Preset, User (+), and System (+). The main PTZ configuration area on the right includes three dropdown menus: PTZ Type (Pelco-D), PTZ Port (COM2), and ONVIF PTZ Type (ONVIF Serial).

➤ PTZ メニュー

表示	説明
General	PTZ カメラの設定を行います。
Preset	Preset の設定を行います。

9.6.1. General

PTZ

PTZ Type Pelco-D

PTZ Port COM2

ONVIF PTZ Type ONVIF Serial

Apply

● PTZ

PTZ

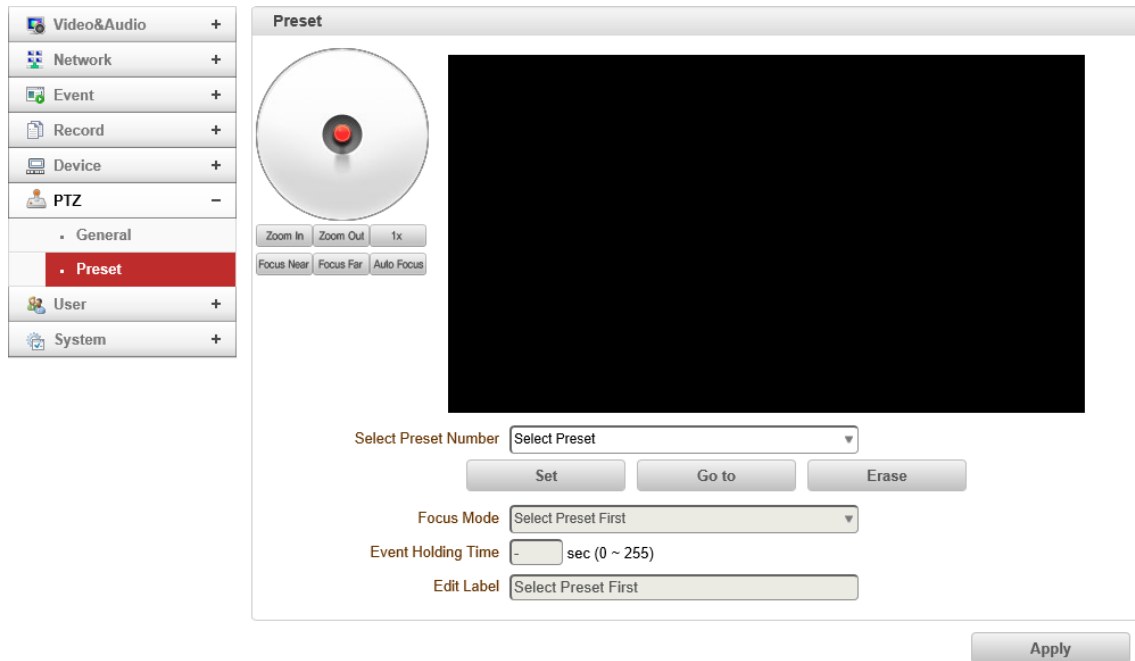
PTZ Type Pelco-D

PTZ Port COM2

ONVIF PTZ Type ONVIF Serial

表示	説明
PTZ Type	PTZ カメラや受信機の種類を選択します。
PTZ ID	制御用のカメラや受信機の PTZ ID を入力します。[0-255]
ONVIF PTZ Type	ONVIF Serial または ONVIF PTZ から選択します。

9.6.2. Preset

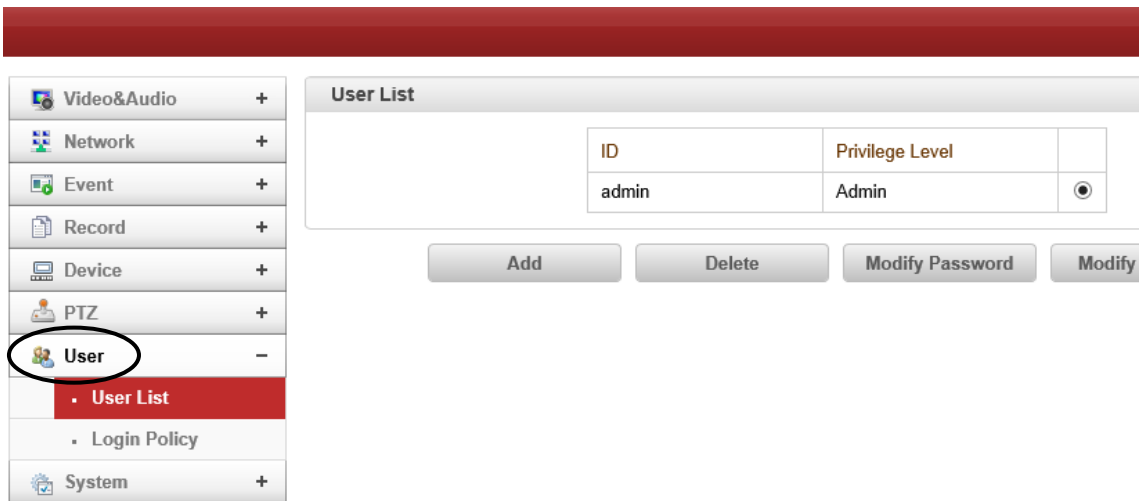


- Preset

表示	説明
Select Preset Number	プリセット番号を選択します。(Preset-1～500)
	選択したプリセット番号に現在位置を設定します。
	プリセットが設定されている場合、選択したプリセットの位置へ移動します。
	選択したプリセットを削除します。
Focus Mode	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
Event Holding Time	本機能は未サポートのため、ご使用になれません。
Edit Label	プリセットにラベルを割り当てます。

9.7. User

SETUP メニュー画面から”User”タブをクリックします。



➤ User メニュー

表示	説明
User List	ユーザの登録・削除・変更を行います。 最大 15 ユーザ登録可能。(admin 含む)
Login Policy	認証タイプやログイン方法を設定できます。

※上記の User 設定は、admin ユーザのみ設定できます。

9.7.1. User List

Video&Audio +	<div> <div>User List</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ID</th> <th>Privilege Level</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>admin</td> <td>Admin</td> <td><input checked="" type="radio"/></td> </tr> </tbody> </table> <div> Add Delete Modify Password Modify Privilege </div> </div>	ID	Privilege Level		admin	Admin	<input checked="" type="radio"/>
ID		Privilege Level					
admin		Admin	<input checked="" type="radio"/>				
Network +							
Event +							
Record +							
Device +							
PTZ +							
User -							
• User List							
• Login Policy							
System +							

● User List

User List		
ID	Privilege Level	
admin	Admin	<input checked="" type="radio"/>

Add Delete Modify Password Modify Privilege

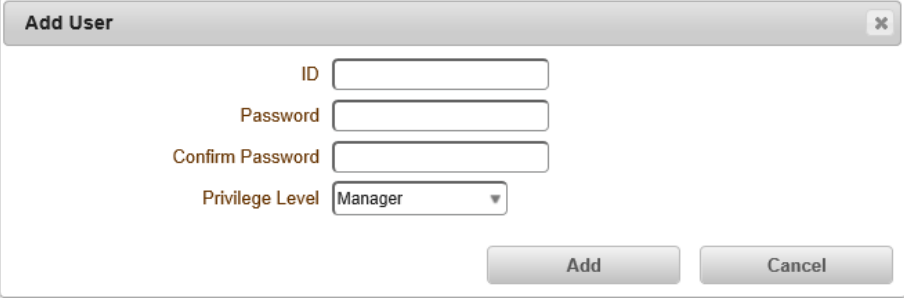
表示	説明
ID	ユーザの ID を表示します。
Privilege Level	ユーザの権限レベルを表示します。

ユーザ権限レベル

権限	操作可能範囲
Admin	すべての操作
Manager	User 設定を除くすべての操作
User	Live 表示と PTZ 制御
Guest	Live 表示のみ

- Add（新規登録）

Add ボタンをクリックします。



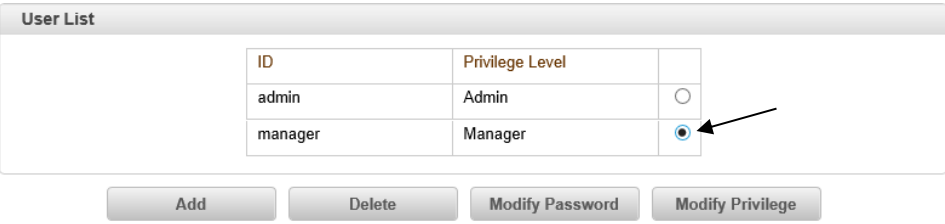
The 'Add User' dialog box contains the following fields and controls:

- ID**: Text input field.
- Password**: Text input field.
- Confirm Password**: Text input field.
- Privilege Level**: Dropdown menu with 'Manager' selected.
- Add**: Button.
- Cancel**: Button.

表示	説明
ID	登録するユーザの ID を入力します。 ※1～15 文字 ※英数字のみ
Password	登録するユーザのパスワードを入力します。 ※2～15 文字 ※英数記号（“=”、“<”、“>”、“?”は使用不可）
Confirm Password	確認のため、もう一度パスワードを入力します。
Privilege Level	ユーザの権限レベルを選択します。

- Delete（ユーザ削除）

削除するユーザの右に黒丸を移動し Delete ボタンをクリックします。



The 'User List' dialog box displays a table of users and controls for managing them:

ID	Privilege Level	
admin	Admin	<input type="radio"/>
manager	Manager	<input checked="" type="radio"/>

An arrow points to the selected radio button for the 'manager' user. Below the table are four buttons: **Add**, **Delete**, **Modify Password**, and **Modify Privilege**.

- Modify Password（パスワードの変更）

パスワード変更をするユーザの右に黒丸を移動し、Modify Password ボタンをクリックします。

The 'Modify Password' dialog box has a title bar with a close button. Inside, there are four labeled input fields: 'ID' (containing 'admin'), 'Current Password', 'New Password', and 'Confirm Password'. Below the fields are two buttons: 'Modify' and 'Cancel'.

表示	説明
ID	パスワードを変更するユーザを表示します。
Current Password	現在のパスワードを入力します。(admin のみ入力)
New Password	新しいパスワードを入力します。
Confirm Password	確認のため、もう一度パスワードを入力します。

- Modify Privilege（権限レベルの変更）

権限レベルを変更するユーザの右に黒丸を移動し Modify Privilege ボタンをクリックします。

The 'Modify Privilege Level' dialog box has a title bar with a close button. Inside, there are two labeled input fields: 'ID' (containing 'manager') and 'Privilege Level' (a dropdown menu showing 'Manager'). Below the fields are two buttons: 'Modify' and 'Cancel'.

表示	説明
ID	権限を変更するユーザを表示します。
Privilege Level	権限レベルを選択します。

※admin ユーザの admin 権限は変更不可

9.7.2. Login Policy

<ul style="list-style-type: none"> Video&Audio + Network + Event + Record + Device + PTZ + User - <ul style="list-style-type: none"> User List Login Policy System + 	Login Policy Authentication Type <input type="radio"/> Basic <input checked="" type="radio"/> Digest Apply
	Authentication RTSP Authentication <input type="radio"/> Off <input checked="" type="radio"/> On HTTPAPI Authentication <input type="radio"/> Off <input checked="" type="radio"/> On Apply
	Login Failure Process Number of Login failures Allowed <input type="text" value="No limit"/> Apply

- Login Policy

Login Policy Authentication Type <input type="radio"/> Basic <input checked="" type="radio"/> Digest Apply

表示	説明
Authentication Type	HTTP 認証方式の基本認証 (Basic) またはダイジェストアクセス認証 (Digest) から選択します。

- Authentication

Authentication RTSP Authentication <input type="radio"/> Off <input checked="" type="radio"/> On HTTPAPI Authentication <input type="radio"/> Off <input checked="" type="radio"/> On Apply

表示	説明
RTSP Authentication	On を選択した場合、RTSP クライアントへの動画配信を行う際に、パスワード認証を要求します。
HTTPAPI Authentication	On に設定すると、HTTPAPI にて操作する際に、パスワード認証を要求します。

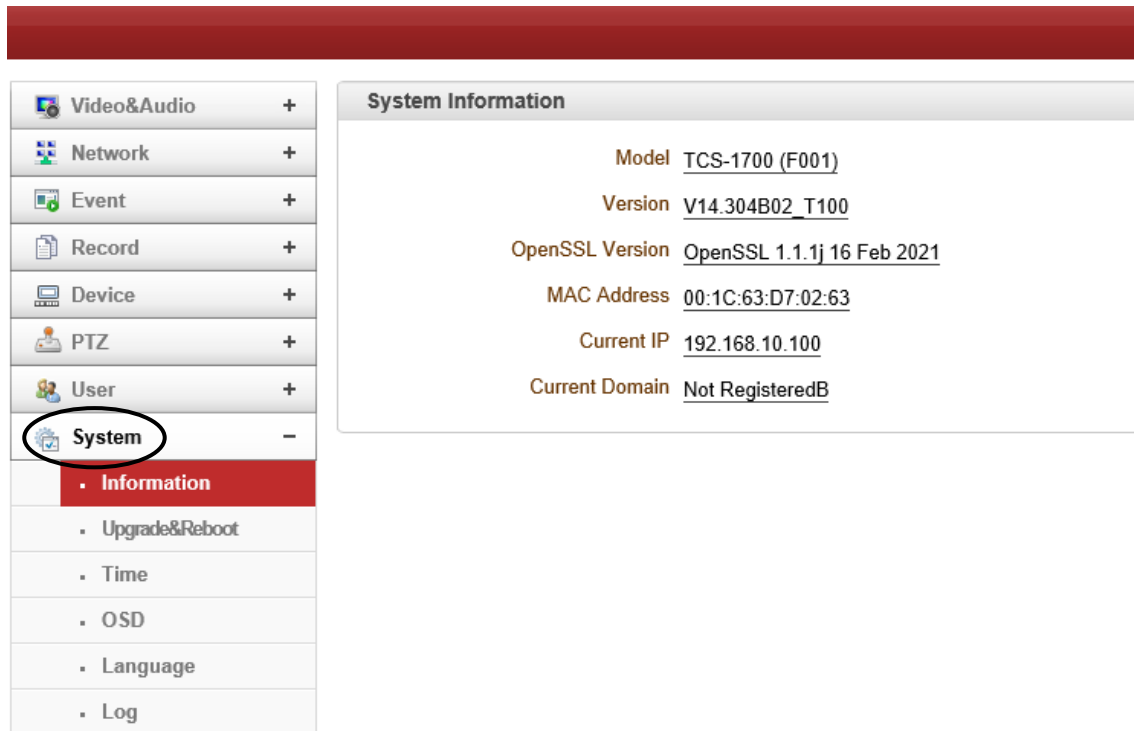
- Login Failure Process

Login Failure Process	
Number of Login failures Allowed	3 ▼
User ID Blocking	30 seconds ▼
<input type="button" value="Apply"/>	

表示	説明
Number of Login failures Allowed	<p>ログイン失敗の許容回数を設定します。</p> <p>No limit (無制限)を選択した場合は、何回失敗してもブロックされません。</p> <p>1,3,5,10 を選択した場合は、失敗の許容回数を超えるとブロックされます。</p> <p>ブロックされた場合、一定の時間ログインできなくなります。</p> <p>【例】</p> <p>3 を選択した場合、3 回連続で失敗しても 4 回目で成功すればログインできます。4回連続で失敗した場合、ブロックされます。</p>
User ID Blocking	<p>ログイン失敗しブロックされた場合、ブロックする時間を設定します。</p> <p>30 秒, 60 秒, 5 分から選択し、経過すると再度ログインできます。</p>

9.8. System

SETUP メニュー画面から”System”タブをクリックします。



➤ System メニュー

表示	説明
Information	現在の機器情報の表示を行います。
Upgrade & Reboot	ファームウェアの更新や本機の再起動、初期化を行います。
Time	現在の日時設定を行います。
OSD	システム名や日時の画面表示設定を行います。
Language	表示される言語設定を行います。
Log	ログの表示と保存を行います。

9.8.1. Information

- Video&Audio +
- Network +
- Event +
- Record +
- Device +
- PTZ +
- User +
- System -
 - Information
 - Upgrade&Reboot
 - Time
 - OSD
 - Language
 - Log

System Information

Model TCS-1700 (F001)

Version V14.304B02_T100

OpenSSL Version OpenSSL 1.1.1j 16 Feb 2021

MAC Address 00:1C:63:D7:02:63

Current IP 192.168.10.100

Current Domain Not RegisteredB

- System Information

System Information

Model TCS-1700 (F001)

Version V14.304B02_T100

OpenSSL Version OpenSSL 1.1.1j 16 Feb 2021

MAC Address 00:1C:63:D7:02:63

Current IP 192.168.10.100

Current Domain Not RegisteredB

表示	説明
Model	モデル名を表示します。
Version	現在のファームウェアバージョンを表示します。
OpenSSL Version	現在の OpenSSL バージョンを表示します。
MAC Address	MAC アドレスを表示します。
Current IP	現在の IP アドレスを表示します。
Current Domain	現在のドメイン名を表示します。

9.8.2. Upgrade & Reboot

<ul style="list-style-type: none"> Video&Audio + Network + Event + Record + Device + PTZ + User + System - <ul style="list-style-type: none"> Information Upgrade&Reboot Time OSD Language Log 	Firmware Version <u>V14.304B02_T100</u> Upgrade <input type="text"/> 参照... Firmware Upgrade
	Config Backup&Restore Backup Config Backup Restore <input type="text"/> 参照... Config Restore
	Reboot Reboot
	Factory Reset Exclusions Item Network Preset User List Factory Reset
	SSL Certificates Upload Crt File <input type="text"/> 参照... Key File <input type="text"/> 参照... Upload Default certificate is being used.

● Firmware

Firmware Version <u>V14.304B02_T100</u> Upgrade <input type="text"/> 参照... Firmware Upgrade

表示	説明
Version	現在のファームウェアバージョンを表示します。
Upgrade	参照ボタンをクリックし、PC からファームウェアファイルを選択します。 Firmware Upgrade をクリックし、アップグレードを開始します。 アップグレード完了後に、本機は自動的に再起動します。 ※アップグレード中に電源を切らないで下さい。

- Config Backup & Restore

Config Backup&Restore

Backup

Config Backup

Restore

参照...

Config Restore

表示	説明
Backup	<div>Config Backup</div> をクリックし、コンフィグファイルを保存します。
Restore	参照から保存されたコンフィグファイルを選択し、設定の復元をします。 <div>Config Restore</div> をクリックすると、再起動します。 ※異なるファームウェアバージョンのコンフィグファイルは適用できません。

- Reboot

Reboot

Reboot

表示	説明
<div>Reboot</div>	本機を再起動します。

- Factory Reset

Factory Reset

Exclusions Item

Network

Preset

User List

Factory Reset

表示	説明
Exclusions Item	Network、Preset、User List で初期化しない設定にチェックをします。 設定が保持されるものを以下に記します。 Network : Network > IP&Port, QoS, Discovery, SNMP, DDNS, SSL User > Login Policy > Authentication Preset : PTZ > Preset User List : User > User List
<div>Factory Reset</div>	ログを含む、すべての設定が初期化されます。

- SSL Certification Upload

本機能は未サポートのため、ご使用になれません。

SSL Certificates Upload

Crt File

参照...

Key File

参照...

Upload

Default certificate is being used.

9.8.3. Time

- Time

表示	説明
Start Time	本機の起動日時を表示します。
Current Time	本機の現在日時を表示します。
Set Time	手動で日付と時間を設定できます。 <div>Set Current Time</div> をクリックすると、ブラウザ経由で日時が更新されます。
Time Format	日時の表示形式を選択します。
Time Zone	本機が取り付けられている場所のタイムゾーンを選択します。
Automatically synchronize with NTP server	チェックを入れた場合、自動的に NTP サーバと同期します。 NTP を使用して、NTP サーバと本機の時刻を同期します。 ※同期間隔は 30 分程度
NTP Server	NTP にチェックを入れた場合、同期させる NTP サーバを登録します。

9.8.4. OSD

<ul style="list-style-type: none"> Video&Audio + Network + Event + Record + Device + PTZ + User + System - <ul style="list-style-type: none"> Information Upgrade&Reboot Time OSD Language Log 	<div>System ID</div> <div>System ID <input type="text"/></div> <div>Web Viewer OSD</div> <div>System ID <input checked="" type="radio"/> Off <input type="radio"/> On</div> <div>Time <input checked="" type="radio"/> Off <input type="radio"/> On</div> <div>Position <input checked="" type="radio"/> Bottom <input type="radio"/> Top</div> <div>Apply</div>
---	--

- System ID

System ID	
System ID	<input type="text"/>

表示	説明
System ID	ビデオサーバ名として使用されるシステム ID を入力します。 ※最大 15 文字

- Web Viewer OSD

Web Viewer OSD	
System ID	<input checked="" type="radio"/> Off <input type="radio"/> On
Time	<input checked="" type="radio"/> Off <input type="radio"/> On
Position	<input checked="" type="radio"/> Bottom <input type="radio"/> Top

表示	説明
System ID	システム ID を Live 画面に表示させるか選択します。
Time	現在日時を Live 画面に表示させるのか選択します。
Position	System ID または Time が On の場合、表示する位置を上 (Top) または下 (Bottom) から選択します。

※Edge (Internet Explorer モード) のみ表示

9.8.5. Language

The screenshot shows the web interface of the TCS-1700. On the left is a sidebar menu with categories: Video&Audio, Network, Event, Record, Device, PTZ, User, and System. The 'System' category is expanded, showing sub-items: Information, Upgrade&Reboot, Time, OSD, **Language** (highlighted in red), and Log. On the right, the 'Language' configuration page is displayed. It features a label 'Language' followed by a dropdown menu currently set to 'English', and an 'Apply' button.

- Language

This is a close-up of the 'Language' configuration page. It shows the 'Language' label, a dropdown menu with 'English' selected, and an 'Apply' button.

表示	説明
Language	18 カ国語の中から選択します。

※本取扱説明書は英語版(English)で記載していますが、日本語も選択可能です。

9.8.6. Log

Video&Audio +

Network +

Event +

Record +

Device +

PTZ +

User +

System -

Information

Upgrade&Reboot

Time

OSD

Language

Log

System Log

Filter
☒ Backup
☒ Account
☒ Environment
☒ System
☒ PTZ
☒ Etc
☒ Connection

Get System Log
Save System Log
Delete System Log File

User Log

Get User Log
Save User Log
Delete User Log File

Save Log Option

	Include	Exclude
User	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Backup	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Account	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Environment	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
System	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
PTZ	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Etc	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Connection	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

Apply

- System Log

System Log

```

231004 15:41:41 ETC NETWORK Link disconnect
231004 15:42:17 ETC NETWORK Link disconnect
231004 15:42:50 ETC NETWORK Link disconnect
231004 15:43:29 ETC NETWORK Link disconnect
231004 15:43:42 ETC NETWORK Link disconnect
231004 15:44:02 ETC NETWORK Link disconnect
231004 15:44:19 ETC NETWORK Link disconnect
231004 15:45:07 ETC NETWORK Link disconnect
231004 15:45:49 ETC NETWORK Link disconnect
231004 15:46:11 ETC NETWORK Link disconnect
231004 17:14:36 ETC NETWORK Link disconnect
231004 17:37:34 ETC NETWORK Link disconnect
231004 17:37:42 ETC NETWORK Link disconnect
231004 17:38:25 ETC NETWORK Link disconnect
231011 16:46:21 SYSTEM Started (V14.304B02)
231020 09:02:13 SYSTEM Started (V14.304B02)
231020 11:03:03 SYSTEM FactoryReset ID(admin), IP(192.168.10.195)
231020 11:03:22 SYSTEM Started (V14.304B02)
231020 11:05:10 ACCOUNT Changed Password(admin(Admin)), ID(admin), IP(192.168.10.195)
231020 11:19:07 SYSTEM FactoryReset ID(admin), IP(192.168.10.195)
231020 11:19:27 SYSTEM Started (V14.304B02)
231020 11:35:26 ACCOUNT Changed Password(admin(Admin)), ID(admin), IP(192.168.10.195)
231024 16:48:02 SYSTEM FactoryReset ID(admin), IP(192.168.10.195)
231024 16:48:10 SYSTEM Started (V14.304B02)
231024 16:56:03 ACCOUNT Changed Password(admin(Admin)), ID(admin), IP(192.168.10.195)
231025 10:04:47 SYSTEM Started (V14.304B02)
231025 13:17:25 SYSTEM Started (V14.304B02)
231025 14:23:40 SYSTEM Started (V14.304B02)
231025 16:03:57 SYSTEM Started (V14.304B02)
231025 16:56:04 ENV Network Changed(HTTP Port) Success, ID(admin), IP(192.168.10.7), Contents(80 -> 8000)
231025 16:56:04 ENV Network Changed(HTTPS Port) Success, ID(admin), IP(192.168.10.7), Contents(443 -> 4433)
231026 08:59:24 ENV Network Changed(HTTP Port) Success, ID(admin), IP(192.168.10.7), Contents(8000 -> 80)
231026 08:59:24 ENV Network Changed(HTTPS Port) Success, ID(admin), IP(192.168.10.7), Contents(4433 -> 443)
231026 09:42:09 ETC NETWORK Link disconnect
231026 09:44:03 ETC NETWORK Link disconnect
231026 10:10:16 ETC NETWORK Link disconnect
231026 10:17:08 SYSTEM Reboot ID(admin), IP(192.168.10.7)
231026 10:17:25 SYSTEM Started (V14.304B02)
231026 10:18:37 ETC NETWORK Link disconnect
231026 14:56:11 ENV Recording Changed(Use Record), ID(admin), IP(192.168.10.7), Contents(Off -> On(Disk))
231026 14:56:11 ENV Recording Changed(Manual Record), ID(admin), IP(192.168.10.7), Contents(Off -> On)
231026 14:56:31 SYSTEM Started (V14.304B02)

```

Filter ☒ Backup ☒ Account ☒ Environment ☒ System ☒ PTZ ☒ Etc ☒ Connection

Get System Log Save System Log Delete System Log File

表示	説明
Filter	表示するログを選択できます。非表示にするログはチェックを外します。
Get System Log	システムログを表示します。
Save System Log	システムログを txt ファイルとして保存できます。
Delete System Log File	システムログを削除します。

- User Log

User Log

```

231020 11:35:42 USER Login failure ID(admin), IP(192.168.10.195)
231020 11:36:39 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.195)
231024 14:57:05 USER Login failure ID(admin), IP(127.0.0.1)
231024 14:57:05 USER Login success ID(admin), IP(127.0.0.1)
231024 15:23:29 USER Login failure ID(admin), IP(127.0.0.1)
231024 15:23:29 USER Login success ID(admin), IP(127.0.0.1)
231024 16:55:58 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.195)
231024 16:56:19 USER Login failure ID(admin), IP(192.168.10.195)
231024 16:56:43 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.195)
231025 10:05:59 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.195)
231025 13:17:52 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
231025 13:18:55 USER Login failure ID(admin), IP(127.0.0.1)
231025 13:18:55 USER Login success ID(admin), IP(127.0.0.1)
231025 14:33:24 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
231025 16:08:24 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
231025 16:17:18 USER Login failure ID(admin), IP(192.168.10.7)
231025 16:17:20 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
231026 10:17:57 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
231026 14:56:58 USER Login success ID(admin), IP(192.168.10.7)
231026 14:59:10 USER Login failure ID(admin), IP(127.0.0.1)
231026 14:59:10 USER Login success ID(admin), IP(127.0.0.1)

```

Get User Log

Save User Log

Delete User Log File

表示	説明
<div>Get User Log</div>	ユーザログインに関するログ(success/failure/blocked)を表示します。
<div>Save User Log</div>	ユーザログインに関するログを txt ファイルとして保存できます。
<div>Delete User Log File</div>	ユーザログインに関するログを削除します。

- Save Log Option

Save Log Option

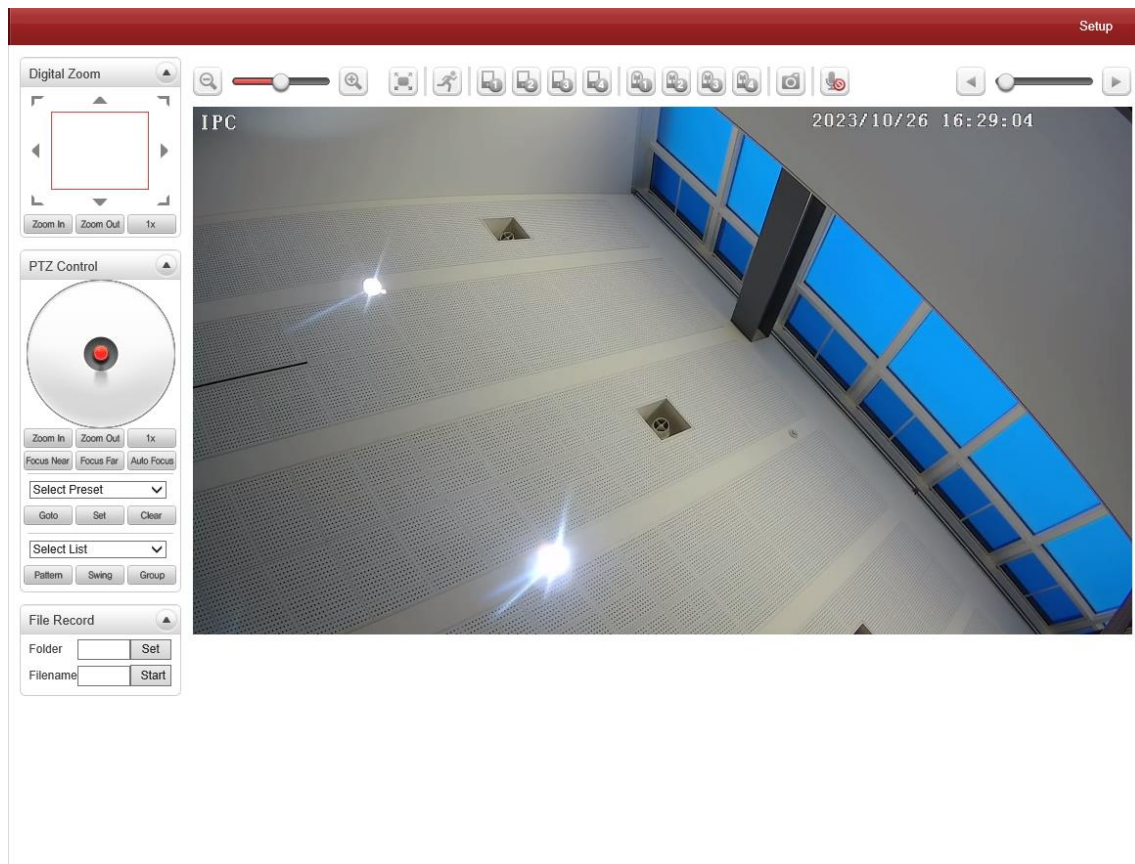
	Include	Exclude
User	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Backup	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Account	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Environment	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
System	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
PTZ	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Etc	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
Connection	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

Apply

表示	説明
Include	保存するログにさまざまなオプションを含めることができます。
Exclude	保存するログにさまざまなオプションを外すことができます。

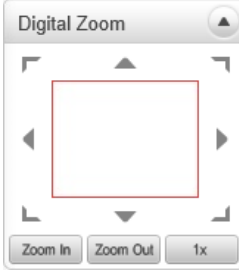
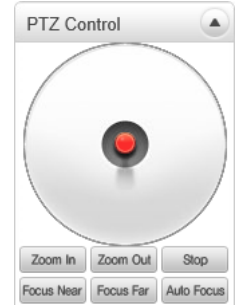
10. Live メニュー

本機に接続されている PTZ 機能などを有するカメラの制御を行うことができる機能です。



※View 画面を確認したい場合は、H.264 の映像表示を推奨します。

表示する映像は、[9.2.3. Remote](#) の「Web Display」にて変更可能です。

表示	説明
	<p>View 画面上のズーム制御を行います。</p> <p>Zoom in : 拡大します。</p> <p>Zoom out : 縮小します。</p> <p>1x : ワンクリックで通常サイズに戻ります。</p>
	<p>Pan(左右)、Tilt(上下)、Zoom(拡大)の制御を行います。</p> <p>Zoom in : 拡大します。</p> <p>Zoom out : 縮小します。</p> <p>Stop : 現在進行中のアクションを停止します。</p> <p>Focus Near : 近くに物体に焦点を合わせます。</p> <p>Focus Far : 遠くの物体に焦点を合わせます。</p> <p>Auto Focus : 自動的に焦点を合わせます。</p>

	<p>Preset の設定を行います。</p> <p>Goto : 選択したプリセット位置へカメラを移動します。</p> <p>Set : 現在の位置でプリセットを保存します。</p> <p>Clear : プリセットを解除します。</p>
	<p>本機能は未サポートのため、ご使用になれません。</p>
	<p>PC のダウンロードフォルダに保存することができます。</p> <p>Filename: ファイル名を設定し、Start で開始、Stop で停止します。</p> <p>ファイル名 [Filename_IPAddress_hh_mm_ss] の MKV ファイルを作成。</p> <p>※Chrome, Edge で使用可能</p>
	<p>Live 画面のスクリーンサイズを調節します。</p>
	<p>クリックするとフルスクリーンになり、Esc で元のサイズに戻ります。</p>
	<p>接続先の TCS-9500 の Motion Detection (動体検知機能) が有効である場合、設定した範囲内で動きを感知すると赤くなります。</p>
	<p>センサーが ON になると作動します。作動中は数字が赤くなります。</p>
	<p>クリックすると、機器のアラームリレーを ON/OFF することができます。作動中は数字が赤くなります。</p>
	<p>画像をキャプチャし、JPEG ファイルで保存します。</p> <p>※Chrome, Edge で使用可能</p>
	<p>本機能は未サポートのため、ご使用になれません。</p>
	<p>映像をブラウザに映し出す前にバッファリングするデータのフレーム数を設定します。</p>

11. 製品仕様

製品名		TCS-1700
タイプ		デコーダ
圧縮方式		H.264、H.265、MJPEG
出力解像度		HDMI : 720x480 ~ 3840x2160 Composite : 720x480
最大フレームレート		60fps @3840x2160
ビデオ	出力	HDMI x1 (type A)、Composite x1 (BNC)
	データレート	単画面、2 分割 (Vertical/Horizontal Dual)、 4 分割 (Quad)、Rotation
オーディオ	スタンダード	G.711 / AAC
	入力	Line-In x1 (ステレオミニジャック)
	出力	Line-Out x1 (ステレオミニジャック)、HDMI x1
	サンプルレート	G.711 : 8kHz AAC : 32kHz / 44.1kHz / 48kHz
	データレート	G.711 : 64kbps AAC : 32kbps / 64kbps / 128kbps / 192kbps
ネットワーク		Ethernet 10/100/1000BASE-T (RJ-45) x1 ・Full/Half duplex Auto detection ・オート MDI/MDI-X ・IEEE 802.3at Power Over Ethernet PD
USB ポート		USB3.0 x1
外部装置	アラームポート	アラーム出力 x2
	センサーポート	センサー入力 x2
	シリアルポート	RS-232 x1
		RS-422/485 x1
ブザー	ブザー x1	
寸法		(W) 134 x (H) 33 x (D) 125mm (突起部含まず)
重量		453.7g(本体のみ)
電源	DC ジャック	DC12V
	PoE	IEEE 802.3at PD として動作
最大消費電力		15W
動作温度		-10~+50℃
動作湿度		0~90%RH (結露なきこと)
保存温度		-20~+50℃

保存湿度	0～90%RH(結露なきこと)
認証	VCCI Class A、RoHS、CE、FCC
製品保証期間	本体：1 年間 AC アダプタ：2 年間

12. 困ったときには

本製品の使用中になんらかのトラブルが発生したときの対処方法について説明いたします。

本体の電源が入らない

以下の点を確認してください。

- 電源コンセントには、電源が供給されているか
- 電源には、適切な電圧が供給されているか
- 正しいポートに、電圧が供給されているか

RJ-45 ポートでリンクが確立しない

以下の点を確認してください。

- 接続先の機器の電源は、オンになっているか
- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか

映像が出力しない

以下の点を確認してください。

- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか
- 映像元のパソコン等の出力設定は正しく設定されているか
- 出力先のモニタ等の設定は正しく設定されているか
- サポートされている解像度で映像が入力されているか
- 入出力コネクタは正しく設定されているか

13. 製品保証

- ◆ 故障かなと思われた場合には、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。

- 1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
- 2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させていただきます。
- 3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
- 4) 弊社への送料はお客様の負担とさせていただきますのでご了承ください。

初期不良保証期間：

ご購入日より **3ヶ月間**（弊社での状態確認作業後、交換機器発送による対応）

製品保証期間：

《本体》ご購入日より **1年間**（お預かりによる修理、または交換対応）

《AC アダプタ》ご購入日より **2年間**（お預かりによる修理、または交換対応）

- ◆ 保証期間内であっても、以下の場合には有償修理とさせていただきます。
（修理できない場合もあります）
 - 1) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
 - 2) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
 - 3) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合
- ◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。
- ◆ 一部の機器は、設定を本体内に記録する機能を有しております。これらの機器は修理時に設定を初期化しますので、お客様が行った設定内容は失われます。恐れ入りますが、修理をご依頼頂く前に、設定内容をお客様にてお控えください。
- ◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。
- ◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社 カスタマサポート

受付時間： 平日（土日祝日、年末年始、当社休業日を除く） 9:00～17:00

TEL: 0570-060030

問合せフォーム: https://hytec.co.jp/contact/technical_support_form.html

